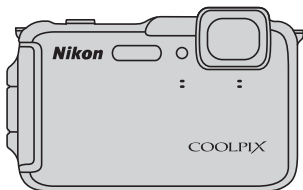


Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX AW120

クールピクス AW120
活用ガイド



Jp

防水について

防水に関する重要なお知らせがあります。ご利用の前に「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(□xiv) をよくお読みください。

防水に関するメッセージについて

このカメラは、特定の設定や操作をした場合に、防水に関するメッセージを表示します。メッセージの内容を確認し、正しくお使いください。



防水に関するメッセージは、以下の場合などに表示されます。

- ご購入後はじめて電源をONにして設定したとき
- [水中] (□41) に設定したとき
- 充電後に電源をONにしたとき

注意：異物を取り除かずにカバーを閉めると浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。
点検、清掃は確実に実施してください。

はじめに	
各部の名称	
撮影と再生の基本ステップ	
いろいろな撮影	
いろいろな再生	
動画を撮影、再生する	
カメラに関する基本設定	
位置情報機能を使う/地図を表示する	
Wi-Fi（無線LAN）を使う	
テレビ、パソコン、プリンターとの接続	
詳細編	
付録、索引	

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX AW120をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(☞vii~☞xiii)、「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(☞xiv)、「<重要> 位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス)についてのご注意」(☞xx)、「Wi-Fi(無線LAN)機能について」(☞xxii)をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□12)をご覧ください。

また、カメラ各部の名称やモニター画面の表示については、「各部の名称」(□1)をご覧ください。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/🔍/🔗	関連情報が記載されているページです。🔍は「詳細編」、🔗は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニター画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプター、ケーブルなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- ・ 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・ 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・ 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・ 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはおお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、[位置情報設定]（□87）の[位置情報記録機能]を[しない]にしてから、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、[オープニング画面]（□76）の[撮影した画像]も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

SDカードに保存したログデータの扱いは、SDカード内の他のデータと同じです。SDカードに未保存の取得済みデータは、[ログ取得] → [全ログ取得終了] → [ログ消去] で消去できます。

Wi-Fi設定は、Wi-Fi設定メニュー（●●92）の[設定の初期化]で消去してください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。説明書に従って正しい取り扱いをしてください。




VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。




この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。


表示と意味は以下のようになっています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例

	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

 **警告** (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



禁止

通電中のカメラに長時間直接接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等にむけてフラッシュや動画照明を発光しないこと

事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュや動画照明を人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。

撮影時には、1 m 以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



使用禁止

水中で使うときはストラップを取り外す

首に巻き付くと窒息の原因になります。

**保管注意**

ストラップが首に巻きつかないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない
首に巻き付くと窒息の原因になります。

**警告**


指定の電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル)を使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になりません。

**使用禁止**

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、
電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

 **注意** (カメラについて)

**禁止**

0℃以下の低温下でカメラに長時間直接接触れない

金属部分などに触れていると、皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。
手袋などを着用ください。

**保管注意**

製品は、幼児の手の届く所に置かない

ケガの原因になることがあります。

**保管注意**

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

**移動注意**

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつかけたりしてケガの原因になることがあります。

**使用注意**

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする

搭乗前に位置情報記録機能もOFFにする

全てのログの取得を終了する

飛行中は無線通信機能を使わない

病院では、病院の指示に従う

本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り外してください。



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。



プラグを抜く

本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



直視しない

動画照明を直接見ない

視覚に悪影響を及ぼすことがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

故障や火災の原因になることがあります。



危険 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX AW120に対応しています。EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管しない

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。



警告 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき
は、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。二コンサーブス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告 (本体充電ACアダプターについて)



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること
そのまま使用すると火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと
また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと
ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。



使用禁止

指定のUSBケーブルを使う
指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。



感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因になることがあります。



禁止

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)
やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと
発熱、故障、火災の原因となります。



禁止

通電中のACアダプターに長時間直接接触れない
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

 **注意** (本体充電ACアダプターについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



放置注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

- ・「取り扱い上のご注意」(※2)も、必ずお読みください。

耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock[※]に準拠した当社試験(高さ 202 cm から厚さ 5 cmの合板上へ落下)をパスしています。

すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。

※ 米国防総省の試験方法の規格です。

高さ 122 cmから26方向(8角、12稜、6面)の落下試験を、5台のセットを使って、合計5台以内でパスする試験です(試験中に不具合が生じたときは、新たな5台のセットを使って、合計5台以内で試験します)。

- 本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動や圧力を与えないでください。

浸水や故障の原因になります。

- ・ 本製品を水深 18 mより深いところに入れないでください。
- ・ 本製品に流水などで強い水圧をかけないでください。
- ・ 本製品をスラックスなどのポケットに入れたまま座らないでください。バッグなどに無理に詰め込まないでください。

防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 18 m で 60分まで撮影できます。[※]

すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

※ 当社の定める使用方法で、指定圧力的水中で指定時間使用できるという意味です。

- 本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動、圧力を与えた場合、防水性能を保証するものではありません。

- ・ 本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、防水性能の点検(有料)をおすすめします。
 - 本製品を水深 18 mより深いところに入れないでください。
 - 本製品に急流や滝などの強い水圧をかけないでください。
 - お客さまの誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。

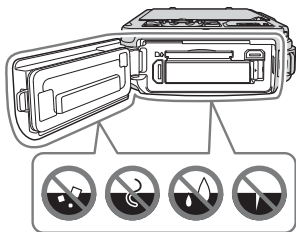
- 本製品の防水性能は、真水（プール、河川、湖など）と海水のみを対象としています。
- 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると故障します。
- 付属品は防水仕様ではありません。

- カメラの外側や電池 /SD カードカバーの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。ぬれたメモリーカード、電池をカメラに入れないでください。

水辺や水中で、ぬれた状態でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になります。

ぬれた手でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。

- カメラの外側や電池/SDカードカバーの内側（黄色の防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に異物が付着したら、すぐにブローアなどで取り除いてください。電池/SDカードカバー内側の防水パッキンに異物が付着しているときは付属のブラシで取り除いてください。付属のブラシは防水パッキンの清掃以外には使用しないでください。
- 本製品に日焼けオイル、日焼け止め、温泉、入浴剤、洗剤、石けん、有機溶剤、油脂、アルコール類などが付着したら、ただちにふき取ってください。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、40℃以上の高温下（特に、直射日光の当たる場所、車内、船上、砂浜、そして暖房装置の近くなど）に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。



水中で使用する前のご注意

陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。

1. 電池/SDカードカバーの内側に異物が付着していないか確かめる

- ・ 砂、ほこり、毛髪などの異物の付着は、ブローなどで取り除いてください。
- ・ 水滴など液体の付着は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

2. 電池 /SD カードカバーの防水パッキン（□1）にひび割れや変形がないか確かめる

- ・ 防水パッキンの防水性能は、1年以上経過すると劣化することがあります。劣化していると思われるときは、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

3. 電池/SDカードカバーを確実に閉じたか確かめる

- ・ 「カチッ」とロックがかかるまで、電池/SD カードカバー開閉ダイヤルを回してください。ストラップの細いひもを挟み込まないようにご注意ください。
- ・ ダイアルの指標が、「閉じる」状態になっていることも確かめてください。

水中での使用について

浸水を防ぐために、以下にお気をつけください。

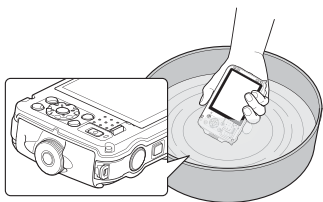
- ・ 本製品を持って水深 18 m よりも深く潜らないでください。
- ・ 水中で60分以上連続して使わないでください。
- ・ 水温 0℃から40℃の範囲内でお使いください。
- ・ 温泉では使用できません。
- ・ 水中で電池/SDカードカバーを開閉しないでください。
- ・ 水中で本製品に衝撃を与えないでください。
本製品を持って水中に飛び込んだり、急流や滝などの激しい水圧をかけたりしないでください。
- ・ 本製品は水に浮きません。水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。

水中で使用後のクリーニング

- 水中で使った後は、60分以上放置せずに、必ずお手入れをしてください。異物や塩分などを付着したまま放置すると、破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。
- お手入れの前に、手、身体や毛髪などに付着した水滴、砂、塩分などをよく取り除いてください。
- お手入れは、水しぶきや砂がかかるおそれのある場所を避け、室内をおすすめします。
- 水洗いで異物を取り除き、水分をふき取るまでは、電池/SDカードカバーを開けないでください。

1. 電池/SDカードカバーを閉じたまま、真水で洗う

浅い容器に溜めた真水（水道水、井戸水のような塩分を含まない水）の中に、約10分間浸け置きしてください。



- ボタンやスイッチ類が正常に動かないときは、異物付着の可能性があります。故障の原因になりますので、真水に浸けて軽く揺すり、異物を洗い流してください。
- 水に浸けると、マイクやスピーカーなどの水抜き孔からわずかに気泡が出ることがありますが、故障ではありません。


2. 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす

- 乾いた布などの上に立てて置いて、乾かしてください。マイクやスピーカーなどの隙間に入っていた水が流れ出てきます。
- ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。防水パッキンやボディーが変形すると、防水性能を失います。

3. 水滴などの付着がないことを確認してから、電池/SDカードカバーを開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る

- 十分に乾燥させないうちに、カバーを開けると、水滴がメモリーカードや電池に付着することがあります。また、水滴がカバーの内側（防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に付着することがあります。

柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。

- カバーを内側がぬれたままで閉じると、結露や故障の原因になります。
- マイクやスピーカーなどの孔を水滴がふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。
 - 柔らかい乾いた布でふき取ってください。
 - マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。
- 「お手入れ方法 クリーニングについて」（7）もお読みください。

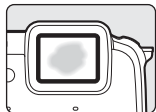
使用温度と湿度、結露について

このカメラは、 -10°C ～ $+40^{\circ}\text{C}$ での動作確認をしています。

寒冷地では、以下にご注意ください。

- 電池の性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が一時的に低下します。カメラや予備電池は、保温しながらお使いください。
- カメラが冷え切っていると、モニターが電源を ON にした直後は通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、性能が一時的に低下することがあります。
- カメラの外側に雪や水滴などが付着したら、すぐに取り除いてください。
 - ボタンやスイッチ類などが凍結すると、動きにくくなることがあります。
 - マイクやスピーカーなどの孔を水滴などがふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。

- **レンズやモニターの内側が、温度や湿度などの使用環境によってくもる（結露する）ことがあります。本機の故障や不具合ではありません。**



- **カメラの内側が結露しやすい環境について**

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやモニターの内側がくもる（結露する）場合があります。

- 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
- 寒冷地から屋内などの温かい場所に持ち込む
- 湿度が高い環境で、電池/SDカードカバーを開閉する

- **くもりを取る方法**

- 高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源を OFF にしてから電池/SDカードカバーを開ける。
電池とSDカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、くもりが取れます。
- くもりが取れない場合は、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

<重要>位置情報機能（GPS/GLONASS、電子コンパス）についてのご注意

● 本製品の地図・地名情報データについて

位置情報機能をお使いの前に、「地図・地名情報データ使用許諾契約書」(p.20)を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地図や地名情報 (Point of Interest : POI) は、2013年4月現在のものです。地図や地名情報の更新はいたしません。
- 地形の詳細については、地図の縮尺に従い、省略表示をしています。地図の縮尺、地名情報の粗密は、国や地域で異なります。また、緯度が高くなるに伴い、画面上の縦横の縮尺は異なってくるため、地形の表示も実際と異なります。地図や地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。
- 中華人民共和国（以下「中国」）と大韓民国の詳細な地図データ、および地名情報 (POI) は、搭載していません。

● 位置情報記録機能とログ取得について

- 位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] を [する] にしているときやログ取得中は、カメラの電源をOFFにした後も位置情報記録機能やログ取得機能が作動します (p.80)。本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空機の離着陸時や病院などの使用禁止・制限区域では、必ず、ログ取得を終了し、[位置情報記録機能] を [しない] にしてから、カメラの電源をOFFにしてください。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」(p.vi) も必ずお読みください。

● 計測機能について

本製品はカメラです。航法機器や計測機器として使わないでください。

- 本製品が計測する情報（方位、高度、水深など）は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途には使わないでください。
- 本製品を登山やトレッキング、水中などでお使いの際は、地図や航法機器、計測機器を必ず携帯してください。

● 海外でお使いの場合

- 位置情報機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。
[位置情報記録機能] を [しない] にしてご使用ください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、位置情報機能が正常に機能しない場合があります（2013年12月現在）。

Wi-Fi (無線LAN) 機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品のWi-Fiの無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi (無線LAN) 機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式はDSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです：
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。

なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、Wi-Fi設定メニュー（p.92）の「設定の初期化」で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに	ii
はじめにお読みください	ii
本書について	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vii
<重要> 耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露について	xiv
耐衝撃性能について	xiv
防水/防じん性能について	xiv
水中で使用する前のご注意	xvi
水中での使用について	xvi
水中で使用後のクリーニング	xvii
使用温度と湿度、結露について	xix
<重要> 位置情報機能 (GPS/GLONASS、電子コンパス) についてのご注意	xx
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xxii
<hr/>	
各部の名称	1
カメラ本体	1
陸上専用ストラップの取り付け方	3
(👉) (アクション) ボタンを使う (アクション操作)	4
メニューを使う (MENU ボタン)	6
モニター画面の表示内容	8
撮影モード	8
再生モード	10
<hr/>	
撮影と再生の基本ステップ	12
準備 1 電池を入れる	12
準備 2 電池を充電する	14
準備 3 SD カードを入れる	16
内蔵メモリーとSDカードについて	17
準備 4 表示言語と日時を設定する	18
ステップ 1 電源を ON にする	22
ステップ 2 撮影モードを選ぶ	24
撮影モードの種類	25
ステップ 3 カメラを構え、構図を決める	26
ズームを使う	27

ステップ4 ピントを合わせ、シャッターをきる.....	28
シャッターボタンの半押しと全押し.....	29
ステップ5 画像を再生する.....	30
ステップ6 画像を削除する.....	31

いろいろな撮影..... 33

📷 (らくらくオート撮影) モード.....	33
シーンモード (シーンに合わせて撮影する).....	35
ヒントとご注意.....	36
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する).....	42
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する).....	44
📷 (オート撮影) モード.....	45
クイックエフェクトを使う.....	46
マルチセクターで設定できる機能.....	47
フラッシュを使う.....	48
セルフタイマーを使う.....	50
マクロ (接写) モードを使う.....	51
明るさを調整する (露出補正).....	52
初期設定一覧.....	53
MENU ボタンで設定できる機能 (撮影メニュー).....	55
撮影メニューの種類.....	56
組み合わせて使えない機能.....	58
ピント合わせについて.....	61
ターゲットファインドAFについて.....	61
顔認識撮影について.....	62
美肌機能について.....	63
オートフォーカスが苦手な被写体.....	63
フォーカスロック撮影.....	64

いろいろな再生..... 65

拡大表示.....	65
サムネイル表示 / カレンダー表示.....	66
MENU ボタンで設定できる機能 (再生メニュー).....	67

動画を撮影、再生する..... 69

動画を撮影する.....	69
MENU ボタンで設定できる機能 (動画メニュー).....	73
動画を再生する.....	74

カメラに関する基本設定..... 76

MENU ボタンで設定できる機能 (セットアップメニュー).....	76
------------------------------------	----

位置情報機能を使う / 地図を表示する	78
位置情報記録を開始する	78
地図を表示する	82
撮影モード時	82
再生モード時	84
高度計 / 水深計を使う	86
MENU ボタンで設定できる機能 (位置情報設定メニュー)	87
Wi-Fi (無線 LAN) を使う	89
Wi-Fi 機能でできること	89
写真を撮る	89
写真を見る	89
スマートデバイスにソフトウェアをインストールする	89
カメラとスマートデバイスを接続する	90
テレビ、パソコン、プリンターとの接続	92
カメラとの接続方法	92
ViewNX 2 を使う	94
ViewNX 2 をインストールする	94
パソコンに画像を取り込む	95
画像を見る	97
詳細編	1
かんたんパノラマの使い方 (撮影と再生)	02
かんたんパノラマの撮影方法	02
かんたんパノラマで撮影した画像の再生方法	04
お気に入り再生モード	05
お気に入りフォルダーに画像を登録する	05
お気に入りフォルダーの画像を再生する	06
お気に入りフォルダーの画像登録を解除する	07
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する	08
オート分類再生モード	09
撮影日一覧モード	10
連写した画像 (連写グループ) の再生と削除	11
連写グループの再生方法	11
連写グループの画像を削除する	12
画像の編集 (静止画)	13
画像編集の前に	13
クイックエフェクト (色合いや雰囲気を変える)	14
簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める)	15

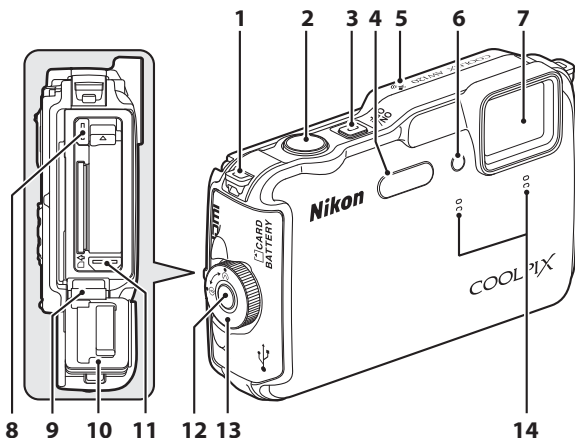
D- ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する)	0015
赤目補正 (フラッシュ撮影による赤目を補正する)	0016
メイクアップ効果 (人物の顔をきれいにさせる)	0017
情報合成画像	
(高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む)	0018
スモールピクチャー (画像サイズを小さくする)	0019
トリミング (画像の一部を切り抜く)	0020
テレビとの接続 (テレビ画面での再生)	0021
プリンターとの接続 (ダイレクトプリント)	0022
カメラとプリンターを接続する	0023
1コマずつプリントする	0024
複数の画像をプリントする	0026
動画の編集	0028
動画の必要な部分だけを切り出す	0028
動画の1フレームを静止画として保存する	0029
撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)	0030
画像モード (画像サイズ/画質)	0030
ホワイトバランス (色合いの調整)	0032
連写	0034
ISO感度設定	0037
AFエリア選択	0038
AFモード (オートフォーカスモード)	0041
クイックエフェクト	0041
ベストフェイスメニュー	0042
美肌効果	0042
笑顔自動シャッター	0043
目つぶり軽減	0044
再生メニュー	0045
プリント指定 (プリントする画像や枚数の設定)	0045
スライドショー	0048
プロテクト設定	0049
画像回転	0050
音声メモ	0051
画像コピー (内蔵メモリーとSDカード間のコピー)	0052
連写グループ表示方法	0053
連写の代表画像選択	0053
動画メニュー	0054
動画設定	0054
HS動画で記録開始	0058
AF エリア選択	0058
AFモード	0059
動画手ブレ補正	0060

動画照明.....	060
風切り音低減.....	061
フレームレート設定.....	061
セットアップメニュー.....	062
オープニング画面.....	062
地域と日時.....	063
モニター設定.....	065
デート写し込み（日付の写し込み）.....	067
静止画手ブレ補正.....	068
モーション検知.....	069
AF 補助光.....	069
電子ズーム.....	070
操作音.....	070
アクション操作の感度.....	071
アクション画像送り.....	071
アクション地図操作.....	072
オートパワーオフ.....	072
メモリー / カードの初期化（フォーマット）.....	073
言語/Language.....	074
TV 出力設定.....	074
パソコン接続充電.....	075
目つぶり検出設定.....	076
Eye-Fi送信機能.....	077
設定クリアー.....	078
バージョン情報.....	078
位置情報設定メニュー.....	079
位置情報設定.....	079
距離単位.....	080
距離計算.....	081
POI設定（地名情報を記録、表示する）.....	082
ログ取得（移動情報のログを記録する）.....	083
ログデータ表示.....	086
衛星による日時合わせ.....	088
電子コンパス設定.....	089
高度/水深設定.....	091
Wi-Fi 設定メニュー.....	092
警告メッセージ.....	094
記録データのファイル名.....	099
別売アクセサリ.....	101

取り扱い上のご注意.....	2
カメラについて	2
電池について	4
本体充電ACアダプターについて	5
メモリーカードについて	6
お手入れ方法	7
クリーニングについて	7
保管について	8
故障かな?と思ったら.....	9
地図・地名情報データ使用許諾契約書	20
主な仕様.....	26
推奨SDカード.....	31
索引	34
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内.....	38
アフターサービスについて	39

各部の名称

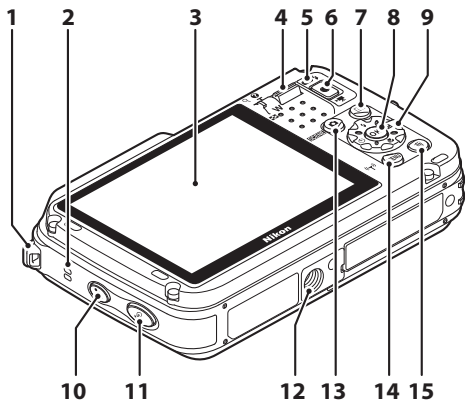
カメラ本体



各部の名称

1	ストラップ取り付け部 3
2	シャッターボタン 28
3	電源スイッチ/電源ランプ 22
4	フラッシュ 48
5	測位アンテナ 78
	セルフタイマーランプ 50
6	AF補助光 76
	動画照明 73
7	レンズ	

8	HDMIマイク口端子 (Type D) 92
9	蝶番 (ちょうつがい) xv
10	防水パッキン xv
11	Micro-USB端子 92
12	電池/SDカードカバーロック解除ボタン 12、16
13	電池/SDカードカバー開閉ダイヤル 12、16
14	マイク (ステレオ) 67、69

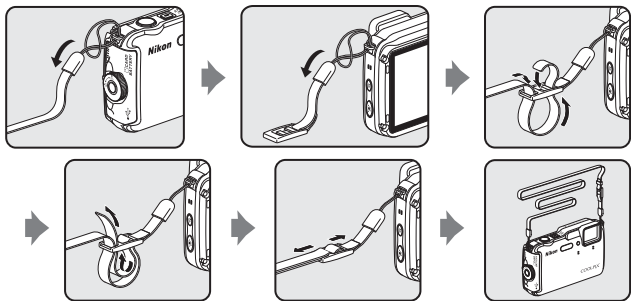


1	ストラップ取り付け部.....3	8	Ⓚ (決定) ボタン 6
2	スピーカー67、74、76	9	マルチセクター..... 6
3	有機ELモニター (モニター) ※ 8、22	10	🗺 (地図) ボタン82
4	ズームレバー 27	11	👉 (アクション) ボタン 4
	W: 広角ズーム..... 27	12	三脚ネジ穴
	T: 望遠ズーム..... 27	13	📷 (撮影モード) ボタン 24
	📷: サムネイル表示 66	14	MENU (メニュー) ボタン 6、55、67、73、 76、87
	🔍: 拡大 65		15
	👉: ヘルプ..... 35		
5	フラッシュランプ 48		
6	● (📹 動画撮影) ボタン 69		
7	▶ (再生) ボタン 30		

※ 本書では「モニター」と表記することがあります。


陸上専用ストラップの取り付け方

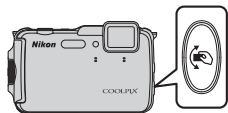
陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。



各部の名称

(アクション) ボタンを使う (アクション操作)


 (アクション) ボタンを押すと、カメラを振って操作することができます。




図のように手首を使って、カメラを上下方向、または前後方向に一振りして操作します。



アクションメニューでは、カメラを上下方向または前後方向に振って、以下の項目を選べます。

 (アクション) ボタンを押すと決定します。


- 撮影モード選択：[らくらくオート撮影]、[オート撮影]、[ビーチ]、[雪]、[風景]、[水中] のモードを選べます。
- [動画撮影開始]： (アクション) ボタンを押すと撮影が始まります。もう一度押すと終了します。
- [クイック再生]：画像を1コマ表示します。
- [現在地]：現在地を地図上に表示します（位置情報が取得できているときのみ（[□78](#)））。

1コマ再生中のアクション操作


セットアップメニュー (□76) の [アクション画像送り] が [する] の場合、再生モードの1コマ再生時にカメラを上下方向に振ると次の画像を、前後方向に振ると前の画像を表示します。

地図表示中のアクション操作

地図表示中は以下の操作ができます。

-  (アクション) ボタンを押しながら、カメラを傾けると地図をスクロールできます。
- セットアップメニュー (□76) の [アクション地図操作] が [する] の場合、カメラを1回振ると地図を拡大、2回振ると地図を縮小します。

アクション操作についてのご注意

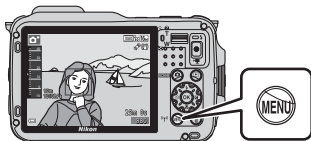
- アクション操作するときには、必ずストラップに手を通して、カメラをしっかりと持ってください。
- アクション操作中は、 (アクション) ボタン、シャッターボタンおよび電源ボタンのみ使用できます。
- カメラの振り方によっては、うまく操作できない場合があります。アクション操作の感度を変更してみてください (□76)。

メニューを使う (MENUボタン)

メニューの操作には、マルチセレクターとOKボタンを使います。

1 MENUボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの ◀ を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニュー切り換えアイコン

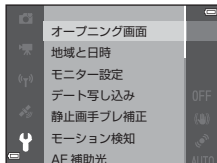
3 メニューアイコンを選ぶ

- メニューが切り換わります。

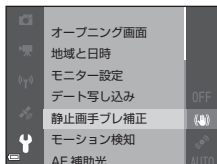


4 OKボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。



5 メニュー項目を選ぶ

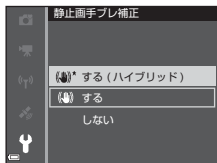


6 OKボタンを押す

- 選んだメニュー項目の設定内容が表示されます。



7 設定内容を選ぶ




8 OKボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押してください。




メニュー項目の設定方法について

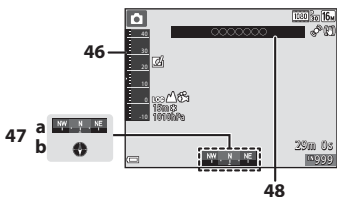
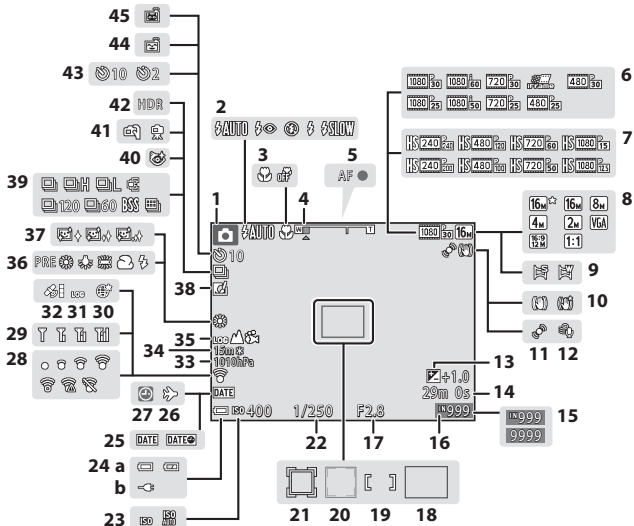
- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタンまたは  (動画撮影) ボタンを押してください。

モニター画面の表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

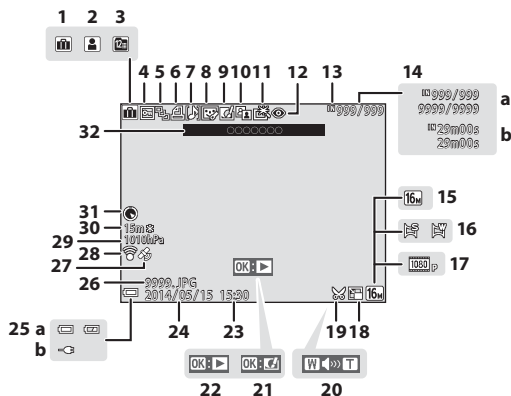
初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]（76）→ [モニター表示設定] → [情報オート] 時）。

撮影モード



1	撮影モード	24、25	25	デート写し込み	76
2	フラッシュモード	48	26	訪問先	64 
3	マクロモード	51	27	日時未設定	18
4	ズーム表示	27、51	28	Eye-Fi通信表示	77
5	AF表示	28	29	Wi-Fi通信表示	89
6	動画設定（通常速度の動画）	73、  54	30	地点登録	82
7	動画設定（HS動画）	73、  55	31	ログ取得表示（位置情報）	83、88
8	画像モード	56、  30	32	位置情報受信状態	80
9	かんたんパノラマ	39	33	気圧表示	86
10	手ブレ補正表示	73、76	34	高度表示/水深表示	86
11	モーション検知表示	76	35	ログ取得表示（高度/水深）	83、88
12	風切り音低減	73	36	ホワイトバランス	56
13	露出補正值	52	37	美肌効果	57
14	記録可能時間（動画）	69	38	クイックエフェクト	46、56
15	記録可能コマ数（静止画）	22	39	連写モード	56
16	内蔵メモリー表示	22	40	目つぶり軽減	57
17	絞り値	29	41	手持ち撮影/三脚撮影	36、37
18	AFエリア（ターゲットファイン ドAF時）	56、61	42	逆光（HDR）	38
19	AFエリア（マニュアル、中央 時）	56、64	43	セルフタイマー	50
20	AFエリア（顔認識時、ペット 検出時）	40、44、56、62	44	笑顔自動シャッター	57
21	AFエリア（ターゲット追尾 時）	56、  40	45	ペット自動シャッター	40
22	シャッタースピード	29	46	高度計/水深計	86
23	ISO感度表示	56	47	コンパス表示	88
24	(a) 電池残量表示	22	47	(a) 方位ゲージ	
	(b) 本体充電ACアダプター 接続中表示		48	(b) 方位磁石	
				地名情報（POI情報）	88

再生モード



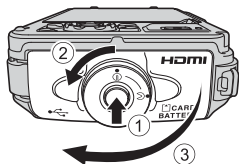
各部の名称

1	お気に入りフォルダー表示 65	18	スモールピクチャー 67、68、69
2	オート分類項目表示 69	19	トリミング済み表示 65、66、67
3	撮影日一覧表示 68	20	音量表示 74、75
4	プロテクト表示... 67、68	21	クイックエフェクト設定ガイド 30
5	連写グループ表示（「1枚ずつ」設定時） 68、69	22	かんたんパノラマ再生ガイド 39、40
6	プリント指定表示 67、68	22	連写グループ再生ガイド 68、69
7	音声メモ表示 67、68	23	動画再生ガイド 74
8	メイクアップ効果済み表示 67、68	23	撮影時刻
9	クイックエフェクト済み表示 30、46、47	24	撮影日
10	D-ライティング済み表示 67、68	25	(a) 電池残量表示 22
11	簡単レタッチ済み表示 67、68	25	(b) 本体充電ACアダプター 接続中表示
12	赤目補正 67、68	26	ファイル名 99
13	内蔵メモリー表示 22	27	位置情報記録済み表示 80
14	(a) 画像の番号/全画像数 (b) 動画の再生時間	28	Eye-Fi通信表示 ... 77、78
15	画像モード 56、57	29	気圧表示 86
16	かんたんパノラマ 39	30	高度表示/水深表示 86
17	動画設定 73、74	31	コンパス表示（方位磁石） 88
		32	地名情報（POI情報） 88

撮影と再生の基本ステップ

準備1 電池を入れる

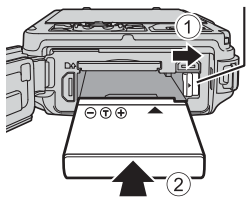
- 1 電池/SD カードカバーロック解除ボタンを押し込み (①)、電池/SDカードカバー開閉ダイヤルを回して (②)、カバーを開ける (③)



- 2 電池を入れる

- ・ オレンジ色の電池ロックレバーを矢印の方向に押しながら (①)、奥まで差し込みます (②)。
- ・ 正しく入れると、電池が固定されます。

電池ロックレバー



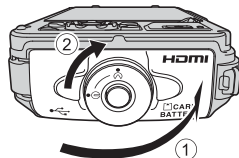
✓ 逆挿入に注意

電池の向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。



- 3 電池/SD カードカバーを本体に押しあてながら (①)、電池/SD カードカバー開閉ダイヤルを、ロックがかかるまで回す (②)

- ・ カチッと音がするまで回してください。



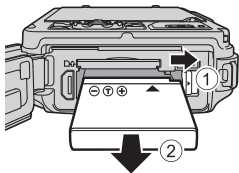
✔ ストラップひもの挟み込みに注意

電池/SDカードカバーを閉めるときに、ストラップのひもを挟み込むと電池/SDカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認してから電池/SDカードカバーを閉めてください。

電池を取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。

電池ロックレバーを矢印の方向に動かすと(①)、電池が押し出されます(②)。



✔ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。

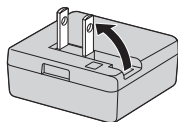
✔ 電池/SDカードカバーの開閉に注意

砂、ほこりなどの多い場所や、ぬれた手で電池/SDカードカバーの開閉をしないでください。異物を取り除かずにカバーを閉めると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。

- カバーやカメラの内側に異物が付着したら、すぐにプロアーやブラシなどで取り除いてください。
- カバーやカメラの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。

準備2 電池を充電する

- 1 付属の本体充電 AC アダプターを用意する



- 2 電池を入れたカメラと本体充電 AC アダプターを①～③の順に接続する

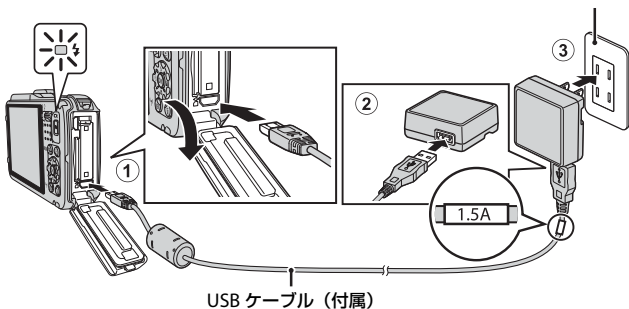
- ・電源はOFFにしたままにしてください。
- ・プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

▼ ご注意

UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。

充電ランプ

家庭用コンセント



- ・カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約2時間20分です。
速い点滅（緑色）	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。 USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。

3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

充電についてのご注意

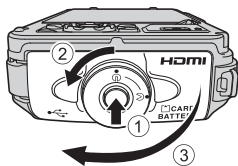
EH-71P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

パソコンや充電器で充電する

- このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できません（□92、📷75）。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-65P（📷101）を使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

準備3 SDカードを入れる

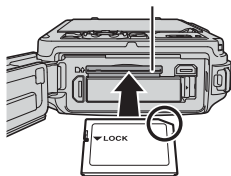
- 1 電源をOFFにして、電池/SDカードカバーを開ける



- 2 SDカードを入れる

・ カチッと音がするまで差し込みます。

SDカードスロット

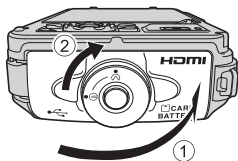


- 逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。



- 3 電池/SDカードカバーを閉じる



✔ ストラップひもの挟み込みに注意

電池/SDカードカバーを閉めるときに、ストラップのひもを挟み込むと電池/SDカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認してから電池/SDカードカバーを閉めてください。

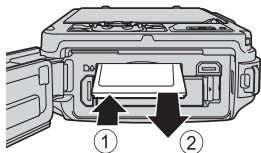
✔ SDカードの初期化について

他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニューの【カードの初期化】を選びます。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く押し込むと(①)、SDカードが押し出されます(②)。



✔ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリーまたはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

準備4 表示言語と日時を設定する

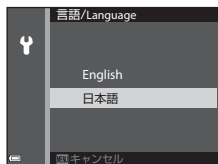
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で🕒が点滅しません。

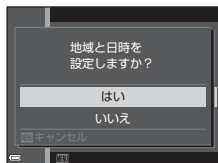
- 1 電源スイッチを押して、電源をONにする



- 2 マルチセレクターの▲▼で表示言語を選び、OKボタンを押す

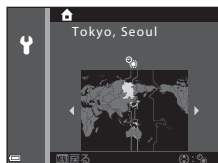


- 3 [はい] を選び、OKボタンを押す

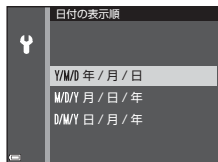


4 自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、**OK** ボタンを押す

- 夏時間（サマータイム）を設定するには、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、地図の上部に☀マークが表示されます。オフにするには▼を押します。



5 日付の表示順を選び、**OK** ボタンを押す

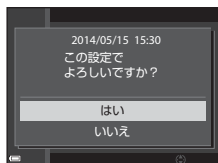


6 日時を合わせ、**OK** ボタンを押す

- 項目を選ぶ：◀▶を押します（[年]、[月]、[日]、[時]、[分] に切り換わります）。
- 日時を合わせる：▲▼を押します。
- 設定を確認する：[分] を選び、**OK** ボタンを押します。

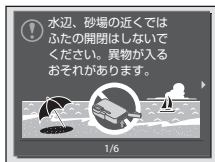


7 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す



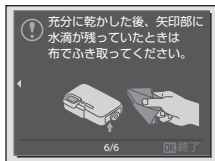
8 防水に関するメッセージを確認し、 ▶を押す

- メッセージ画面は6つあります。



9 右の画面のメッセージを確認したら、**OK**ボタンを押す

- 撮影画面になります (□22)。



言語や日時の設定をやり直すときは

- **Y** セットアップメニュー (□76) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- **Y** セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。

時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター (別売) を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源を ON にすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「準備4 表示言語と日時を設定する」手順3 (□18)

撮影日入りの画像をプリントするには

- セットアップメニュー (□76) で [デート写し込み] を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- [デート写し込み] を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」(□94) を使うと、日付を入れてプリントできます。



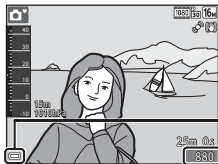
ステップ1 電源をONにする

1 電源スイッチを押す

- ・モニターが点灯します。
- ・もう一度、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。



2 電池残量表示と記録可能コマ数を確認する



電池残量表示

記録可能コマ数

電池残量表示

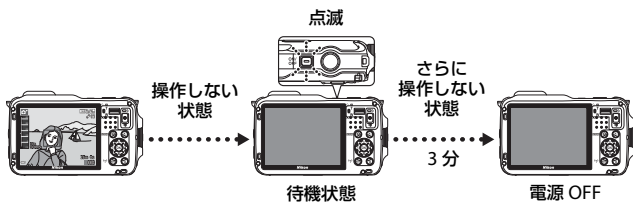
表示	意味
	電池残量はあります。
	電池残量が少なくなりました。
電池残量がありません。	撮影できません。充電してください。

記録可能コマ数

撮影できるコマ数が表示されます。

- ・ SD カードをカメラに入れていないときは、 が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。

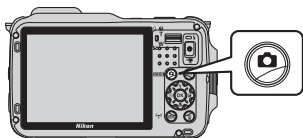
📎 オートパワーオフについて




- 待機状態になるまでの時間は、約1分です。セットアップメニュー (☞76) の [オートパワーオフ] で変更できます。
- 待機中にモニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
→ 電源スイッチ、シャッターボタン、📷 (撮影モード) ボタン、▶ (再生) ボタン、または ● (🎬 動画撮影) ボタン

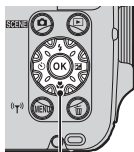
ステップ2 撮影モードを選ぶ

1 カメラボタンを押す



2 マルチセレクターの▲▼で撮影モードを選び、OKボタンを押す

- ここでは、（らくらくオート撮影）モードを例に説明します。












マルチセレクター



- 選んだ撮影モードは電源をOFFにしても記憶されます。

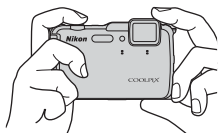
撮影モードの種類

- | | | |
|---|---|--|
|  | らくらくオート撮影 |  33 |
| | 構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。 | |
|  | シーン |  35 |
| | 撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。 | |
| S0 | スペシャルエフェクト |  42 |
| | 画像に効果を付けて撮影できます。 | |
|  | ベストフェイス |  44 |
| | 人物の笑顔を検出し、自動でシャッターがきれます。 | |
|  | オート撮影 |  45 |
| | 基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。 | |

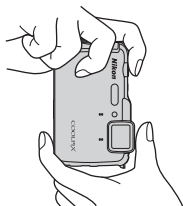
ステップ3 カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。



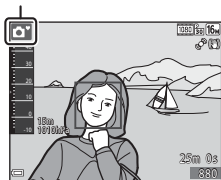
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。




2 構図を決める

- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります (□33)。

撮影モードアイコン



✓ らくらくオート撮影モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください (□24)。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は  になります。

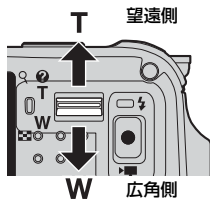
三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所で撮影するとき
 - フラッシュモード (□49) を㊦ (発光禁止) にして撮影するとき
 - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー (□76) の「静止画手ブレ補正」を「しない」にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 被写体を大きく写す：T (望遠) 側
- 広い範囲を写す：W (広角) 側
電源をONにしたときは、最も広角側になっています。



- ズームレバーを動かすと、撮影画面の上部にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを T 側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



電子ズームについて

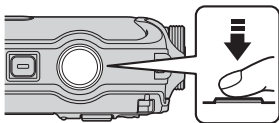
電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

- ズーム表示が青色の時：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色の時：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。

ステップ4 ピントを合わせ、シャッターをきる

1 シャッターボタンを半押しする



- ・ピントが合うと、「AF エリア表示」または「AF表示」(□9)が緑色に点灯します(複数のエリアが点灯することがあります)。
- ・電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示(□9)が緑色に点灯します。
- ・AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていない。構図を変えて半押しをやり直してください。



2 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する



シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込む(全押しする)と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

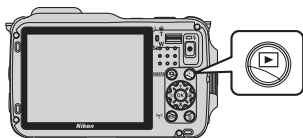
撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

ステップ5 画像を再生する

1 ▶ (再生) ボタンを押す

- 電源OFFの状態では▶ (再生) ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- 撮影に戻るには、📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。

前の画像を表示



次の画像を表示



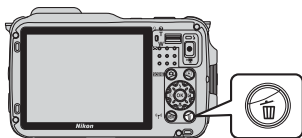
📎 クイックエフェクト機能について

- 1 コマ表示でOK:📷が表示されたときは、OKボタンを押すと画像に効果を付けられます。
- 効果の選択画面が表示されたら、マルチセレクターの◀▶で効果を選んでOKボタンを押し、確認画面で【はい】を選んでOKボタンを押すと、別画像として保存されます。
→「クイックエフェクト (色合いや雰囲気を変える)」(📷14)



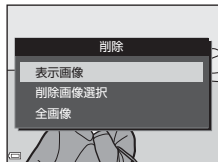
ステップ6 画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して
🗑️ ボタンを押す



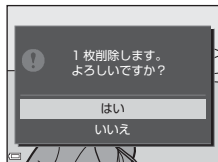
- 2 マルチセレクターの▲▼で削除方法
を選び、OK ボタンを押す

- ・ 削除をやめるには、MENU ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- ・ 削除した画像は、元に戻せません。
- ・ 削除をやめるときは、[いいえ] を選び、OK ボタンを押します。



削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセクターの◀▶で削除したい画像を選び、▲で🗑️を表示する

- ・ 選択を解除するときには、▼を押して🗑️を非表示にします。
- ・ ズームレバー (📏2) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (📐) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに🗑️を表示し、OK ボタンを押して選択を決定する

- ・ 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

✓ 連写グループの削除について

- ・ 代表画像のみの表示中に (📏68) 🗑️ ボタンを押して代表画像を削除すると、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除されます。
- ・ 連写グループ内の画像を個別に削除するときには、OK ボタンを押して1コマずつに展開表示してから🗑️ ボタンを押します。

📎 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑️ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

いろいろな撮影

📷 (らくらくオート撮影) モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 📷 (らくらくオート撮影) モード → Ⓞ ボタン

シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わりません。

👤 ポートレート	📷 クローズアップ
🏞️ 風景	📷 逆光
🌃 夜景ポートレート	📷 水中 [※]
🌃 夜景	📷 その他の撮影シーン

※ カメラを水の中に入ると、水中モードに切り換わります。

位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] が [する] の場合で、測位できているときは、カメラが水中を検出すると、水中で撮影した画像に位置情報を記録するかどうかを選ぶ画面が表示されます。[はい] または [いいえ] を選んで Ⓞ ボタンを押すと、撮影画面になります。

- ピント合わせをするエリア (AF エリア) は、構図によってカメラが選びます。カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います (📖62)。

水の中から出した後のご注意

カメラを水の中から出した後、まれに、水中モードから他のシーンに自動で切り換わらないことがあります。

カメラに付着した水滴などを、手で軽く払うか、柔らかい乾いた布でふき取ってください。お手入れの仕方は、「水中で使用後のクリーニング」(□xvii)をご覧ください。

(らくらくオート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (□48)
- セルフタイマー (□50)
- 露出補正 (□52)
- 撮影メニュー (□55)

シーンモード(シーンに合わせて撮影する)

撮影シーンを選べると、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (上から2番目のアイコン*) → → → → シーンを選択する → ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート (初期設定)	クローズアップ (□□37)
風景* ¹	料理 (□□37)
スポーツ (□□36) * ²	ミュージアム (□□38) * ²
夜景ポートレート (□□36)	打ち上げ花火 (□□38) * ^{1, 3}
パーティー (□□36) * ²	モノクロコピー (□□38) * ²
ビーチ* ²	逆光 (□□38) * ²
雪* ²	かんたんパノラマ (□□39)
夕焼け* ^{2, 3}	ペット (□□40)
トワイライト* ^{1, 3}	水中 (□□41) * ²
夜景 (□□37) * ¹	

※¹ ピントは遠景に合います。

※² ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※³ シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (□□76) の [静止画手ブレ補正] を [しない] にしてください。

各シーンの説明を見るには (ヘルプ表示)

シーンの種類を選び、ズームレバー (□□2) を **T** () 側に動かすと、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを **T** () 側に動かします。

ヒントとご注意

📷 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約6.9コマ/秒の速さで約5コマまで連写できます（画像モードが📷 [4608 × 3456] のとき）。
- 画像モード、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されます。

📷 夜景ポートレート

- 📷 [夜景ポートレート] を選ぶと表示される画面で、[手持ち撮影] または [三脚撮影] を選びます。
- [手持ち撮影]（初期設定）：
 - 画面左上の📷アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
- [三脚撮影]：
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (📷76) の設定にかかわらず、手ブレ補正をしません。

📷 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (📷76) の [静止画手ブレ補正] を [しない] にしてください。

🌃 夜景

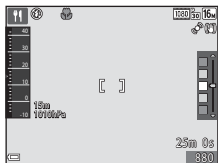
- 🌃 [夜景] を選ぶと表示される画面で、[手持ち撮影] または [三脚撮影] を選びます。
- [手持ち撮影] (初期設定) :
 - 画面左上の 🌃 アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- [三脚撮影] :
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (📷76) の設定にかかわらず、手ブレ補正をしません。

🔍 クローズアップ

- マクロモード (📷51) がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア (AFエリア) を移動できます。OK ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ で移動し、OK ボタンで決定します。

🍴 料理

- マクロモード (📷51) がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できます。OK ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ で移動し、OK ボタンで決定します。



血 ミュージアム

- シャッターボタンを押し続けると、最大10コマ連写し、最も鮮明に撮れている1コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクト））。
- フラッシュは発光しません。

☀ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。



📷 モノクロコピー

- 近くのを撮影するときは、マクロモード（📷51）を併用してください。

🌑 逆光

- 🌑 [逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成のON/OFFを撮影シーンに合わせて選びます。
- OFF（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
 - シャッターボタンを全押しすると、1コマ撮影します。
- ON：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の2コマを記録します。
 - HDR合成していない画像
 - HDR合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
 - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング（📷67）で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

☐ かんたんパノラマ

- ☐ [かんたんパノラマ] を選ぶと表示される画面で、撮影する範囲を [標準 (180°)] または [ワイド (360°)] から選びます。
 - ズーム位置は広角側に固定されます。
 - シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
 - ピントと露出は、撮影開始時に固定されます。
 - 撮影した画像は、1 コマ再生して  ボタンを押すと、スクロールして再生します。
 - このカメラでは画像編集はできません。
- 「かんたんパノラマの使い方 (撮影と再生)」 

✓ パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

🐾 ペット

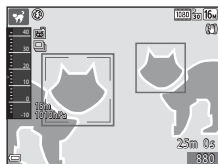
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、[単写] または [連写] を選びます。
 - [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1コマ撮影します。
 - [連写]：犬または猫の顔を検出するたびに、3コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの◀ (📷) を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - 📷：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - OFF：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。OFFのときは、人物の顔も認識します。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すとOFFになります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。

✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



水中

- [水中] を選ぶと、位置情報記録について (□□81)、水深補正についての画面に続き、防水に関するメッセージ (表紙の裏面参照) が表示されます。メッセージを確認し、マルチセレクターの▶を押すと、次のメッセージ画面が表示されます。シャッターボタンを押すと、以降の画面を表示せずに撮影画面になります。
- 水中で撮影するときは、「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」 (□□xiv) をご覧ください。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → S0（上から3番目のアイコン*） → → → 効果の選択 → ボタン

* 前回設定したアイコンが表示されます。

種類	内容
S0 ソフト（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SE ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
ハード調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
VI 極彩色	画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。
クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気表現します。
トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
 - [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、マルチセクターの▲▼でスライダーから色を選びます。
- 以下の設定をするときは、OK ボタンを押して色を選べる状態を解除します。

- フラッシュモード (P48)
- セルフタイマー (P50)
- マクロモード (P51)
- 露出補正 (P52)




もう一度OK ボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。



スライダー

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター（□□57））。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン →  ベストフェイスモード →  ボタン


1 構図を決める

- ・人物の顔にカメラを向けてください。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- ・カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- ・笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

3 自動撮影を終了する

- ・以下のいずれかの操作で終了します。
 - [笑顔自動シャッター] を [しない] にする
 -  ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

ベストフェイスモードについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（□□62）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきた直後は速く点滅します。

ベストフェイスモードで設定できる機能

- ・フラッシュモード（□□48）
- ・セルフタイマー（□□50）
- ・露出補正（□□52）
- ・撮影メニュー（□□55）

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 📷 (オート撮影) モード → Ⓜ ボタン

- ピント合わせをするエリアは、[AF エリア選択] (📖56) の設定によって異なります。
初期設定は、[ターゲットファインドAF] (📖61) です。

📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (📖48)
- セルフタイマー (📖50)
- マクロモード (📖51)
- 露出補正 (📖52)
- 撮影メニュー (📖55)

クイックエフェクトを使う

📷 (オート撮影) モードでは、シャッターをきったすぐ後に、撮影した画像に効果を付けられます。

- 効果を付けた画像は、撮影した画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

1 📷 (オート撮影) モードで静止画を撮影した後に表示される画面で、OK ボタンを押す

- MENU ボタンを押すか、無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。
- 撮影メニュー (📷55) の [クイックエフェクト] を [しない] にすると、右の画面を表示しないようにできます。



2 マルチセレクターの◀▶で効果を選び、OK ボタンを押す

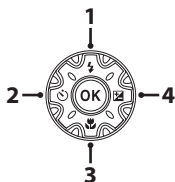
- ズームレバー (📷2) を T (Q) 側に動かすと効果確認画面が表示され、W (📷) 側に動かすと効果選択画面に戻ります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、MENU ボタンを押します。確認画面が表示されたら [はい] を選び、OK ボタンを押します。
- 効果の種類 → 「クイックエフェクト (色合いや雰囲気を変える)」 (📷14)



3 [はい] を選び、OK ボタンを押す

マルチセレクターで設定できる機能

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。



機能	5/5モード オート 撮影	シーン	スペシャル エフェクト	ベスト フェイス	📷 (オート 撮影)
1 ⚡ フラッシュモード (☐48)	○	※	○	○*	○
2 ⏰ セルフタイマー (☐50)	○		○	○*	○
3 📷 マクロモード (☐51)	×		○	×	○
4 📷 露出補正 (☐52)	○		○	○	○

※ 設定によって異なります。→「初期設定一覧」(☐53)

フラッシュを使う

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲（⚡）を押す



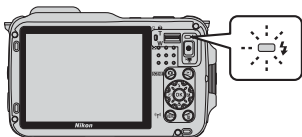
2 フラッシュモード（📖49）を選び、 OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、
選択はキャンセルされます。



✓ フラッシュランプについて

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。
 - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
 - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
 - 消灯：発光しません。
- 電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中はモニターが消灯します。



フラッシュモードの種類

AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- ・撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されません。

赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

発光禁止

フラッシュは発光しません。

- ・暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。


強制発光

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- ・撮影モードによっては、設定できないことがあります。
- ・ (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- ・プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- ・画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- ・撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ・ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒または2秒後にシャッターをきります。三脚などで固定して撮影するときには、セットアップメニュー（[P76](#)）の「静止画手ブレ補正」を「しない」にしてください。

1 マルチセレクターの◀ (☺) を押す



2 [☺10s] または [☺2s] を選び、OK ボタンを押す

- [☺10s] (10秒)：記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2秒)：手ブレの軽減に適しています。
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの「ペット」のときは、 (ペット自動シャッター) が表示されます ([P40](#))。セルフタイマーは使えません。

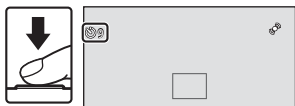


3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯になります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーはOFFになります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



マクロ（接写）モードを使う

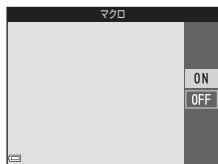
被写体に近づいて撮影するときに設定します。

1 マルチセレクターの▼（👉）を押す



2 ONを選び、OKボタンを押す

- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームレバーを動かし、👉マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする



- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- △マークより広角側のズーム位置では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。

✔ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

📎 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります。
- 📷（オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

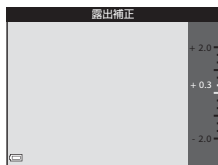
画像全体の明るさを調整できます。

1 マルチセレクターの▶ (☒) を押す




2 補正值を選び、OK ボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- OK ボタンを押さなくても、補正值が設定されます。



露出補正の設定について

- （オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
- 撮影モードが、シーンモードの [打ち上げ花火] (☒38) の場合、露出補正は使えません。
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。

初期設定一覧

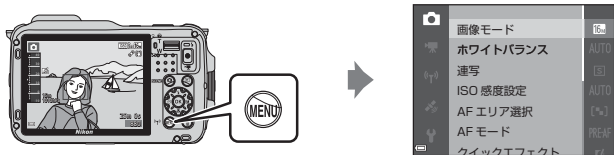
各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

撮影モード	フラッシュ (□48)	セルフタイマー (□50)	マクロ (□51)	露出補正 (□52)
(らくらくオート撮影)	⚡AUTO ^{*1}	OFF	OFF ^{*2}	0.0
SCENE (シーン)				
(ポートレート)	⚡👤	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(風景)	🌄 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(スポーツ)	🏃 ^{*3}	OFF ^{*3}	OFF ^{*3}	0.0
(夜景ポートレート)	🌃👤 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(パーティー)	🎉👤 ^{*4}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(ビーチ)	⚡AUTO	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(雪)	⚡AUTO	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(夕焼け)	🌇 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(トワイライト)	🌆 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(夜景)	🌃 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(クローズアップ)	📷 ^{*3}	OFF	ON ^{*3}	0.0
(料理)	🍴 ^{*3}	OFF	ON ^{*3}	0.0
(ミュージアム)	🏛️ ^{*3}	OFF	OFF	0.0
(打ち上げ花火)	🎆 ^{*3}	OFF ^{*3}	OFF ^{*3}	0.0 ^{*3}
(モノクロコピー)	🖨️	OFF	OFF	0.0
(逆光)	⚡ ^{*5} 、📷 ^{*5}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
(かんたんパノラマ)	📷 ^{*3}	OFF ^{*3}	OFF ^{*3}	0.0
(ペット)	🐾 ^{*3}	^{*6}	OFF	0.0
(水中)	🐠	OFF	OFF	0.0
(スペシャルエフェクト)	🎭	OFF	OFF	0.0
(ベストフェイス)	⚡AUTO ^{*7}	OFF ^{*8}	OFF ^{*3}	0.0
(オート撮影)	⚡AUTO	OFF	OFF	0.0

- ※1 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。Ⓜ（発光禁止）に変更できます。
- ※2 変更できません。Ⓜに判別されるとマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 赤目軽減スローシンクロに切り換わる場合があります。
- ※5 [HDR] のOFF時はⓂ（強制発光）に、[HDR] のON時はⓂ（発光禁止）に固定されます。
- ※6 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（□□40）のON/OFFを設定できます。
- ※7 [目つぶり軽減] が [する] のとき、および [笑顔自動シャッター] が [する] のときは使えません。
- ※8 [笑顔自動シャッター] を [しない] にすると設定できます。

MENU ボタンで設定できる機能（撮影メニュー）

撮影モードでMENU ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます（□6）。






設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

機能	らくらく オート 撮影	シーン ※2	スペシャル エフェクト	ベスト フェイス	📷 (オート 撮影)
画像モード※1	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	×	×	×	×	○
連写	×	×	×	×	○
ISO感度設定	×	×	×	×	○
AFエリア選択	×	×	×	×	○
AFモード	×	×	×	×	○
クイックエフェクト	×	×	×	×	○
美肌効果	×	×	×	○	×
笑顔自動シャッター	×	×	×	○	×
目つぶり軽減	×	×	×	○	×

※1 設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。

※2 シーンによっては、他の項目を設定できます。→「ヒントとご注意」(□36)

撮影メニューの種類

項目	内容	
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを設定します。 ・ 初期設定：  [4608 × 3456]	 30
ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。 ・ 初期設定： [オート]	 32
連写	単写または連続撮影の設定をします。 ・ 初期設定： [単写]	 34
ISO感度設定	被写体の明るさに応じて、ISO感度を設定します。 ・ 初期設定： [オート] [オート] では、ISO感度が高くなると、撮影画面に ISO が表示されます。	 37
AFエリア選択	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を設定します。 ・ 初期設定： [ターゲットファインド AF] ( 61)	 38
AFモード	ピント合わせを行う方式を設定します。 ・ 初期設定： [プリ AF]	 41
クイックエフェクト	クイックエフェクト機能 ( 46) のON/OFFを設定します。 ・ 初期設定： [する]	 41

項目	内容	📖
美肌効果	人物の肌（顔）をなめらかにする度合いを設定します。 ・ 初期設定：[標準]	📖42
笑顔自動シャッター	人物の笑顔を検出したときに、自動でシャッターをきる設定をします。 ・ 初期設定：[する]	📖43
目つぶり軽減	撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ・ 初期設定：[しない]	📖44

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (☞56)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (☞57)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター (☞57)	[笑顔自動シャッター] にすると、セルフタイマーは使えません。
	AFエリア選択 (☞56)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (☞56)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写 (☞56)	連写の設定によって、[画像モード] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] 時： 1M (画像サイズ: 1280 × 960 ピクセル) • [高速連写 120 fps] 時： VGA [640 × 480] • [高速連写 60 fps] 時： 1M (画像サイズ: 1280 × 960 ピクセル) • [マルチ連写] 時： 5M (画像サイズ: 2560 × 1920 ピクセル)
連写	セルフタイマー (☞50)	[先取り撮影] に設定時、セルフタイマーにすると、[単写] で動作します。
ISO感度設定	連写 (☞56)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[マルチ連写] にすると、[ISO感度設定] は明るさに応じて自動的に設定されます。

制限される機能	設定	内容
AFエリア選択	ホワイトバランス (☞56)	[ターゲットファインドAF] 時、 [ホワイトバランス] を [オート] 以外にすると、主要な被写体は検 出しません。
クイックエフェクト	連写 (☞56)	連写のときは、撮影時のクイック エフェクト機能は使えません。
モニター設定	クイックエフェクト (☞56)	[クイックエフェクト] を [する] に設定すると、[撮影後の画像表 示] の設定にかかわらず、撮影後 に画像を表示します。
デート写し込み	連写 (☞56)	[連写 H]、[連写 L]、[先取り撮 影]、[高速連写 120 fps]、[高速 連写 60 fps]、[BSS] にすると、 日時を写し込めません。
	目つぶり軽減 (☞57)	[目つぶり軽減] を [する] に設 定すると、日時を写し込めませ ん。
静止画手ブレ補正	フラッシュモード (☞48)	[する (ハイブリッド)] に設定時、 フラッシュが発光する場合、[す る] で動作します。
	セルフタイマー (☞50)	[する (ハイブリッド)] に設定時、 セルフタイマーにすると、[する] で動作します。
	連写 (☞56)	[する (ハイブリッド)] に設定時、 [単写] 以外にすると、[する] で 動作します。
	ISO感度設定 (☞56)	[する (ハイブリッド)] に設定時、 ISO感度を [感度制限オート] ま たはISO 400以上に設定すると、 [する] で動作します。
	モーション検知 (☞76)	[する (ハイブリッド)] に設定時、 [オート] にすると、[する] で動 作します。

制限される機能	設定	内容
モーション検知	フラッシュモード (☞48)	フラッシュが発光する場合、 [モーション検知] は動作しません。
	連写 (☞56)	[先取り撮影] 、 [高速連写 120 fps] 、 [高速連写 60 fps] 、 [マルチ連写] にすると、 [モーション検知] は動作しません。
	ISO感度設定 (☞56)	ISO感度を [オート] 以外にすると、 [モーション検知] は動作しません。
目つぶり検出設定	連写 (☞56)	[単写] 以外にすると、目つぶり検出をしません。
電子ズーム	連写 (☞56)	[マルチ連写] にすると、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択 (☞56)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写 (☞56)	[単写] 以外にすると、シャッター音は鳴りません。

✔ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません (☞70)。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

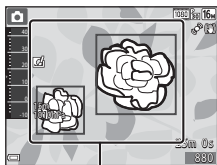
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

ターゲットファインドAFについて

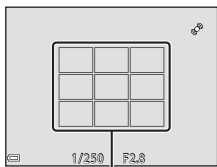
📷（オート撮影）モードの[AFエリア選択]（📖56）が[ターゲットファインドAF]のときは、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体に黄色いAFエリアが表示されます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合ったAFエリア表示が緑色に点灯します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。





AF エリア

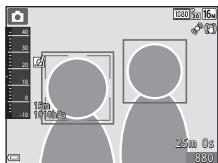
✔ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス]の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

顔認識撮影について



以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

-  (らくらくオート撮影) モード (☞33)
- シーンモード (☞35) の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード (☞44)
-  (オート撮影) モード (☞45) で [AFエリア選択] (☞56) を [顔認識オート] に設定時



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

-  (らくらくオート撮影) モードでは、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート] またはベストフェイスモードでは、画面中央にピントが合います。
-  (オート撮影) モードでは、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている


動画撮影時の顔認識について

動画撮影時、動画メニューで [AFエリア選択] (☞73) を [顔認識オート] に設定すると、顔にピントを合わせて撮影できます。

顔を認識していない状態で ● (▶動画撮影) ボタンを押した場合は、画面中央にピントが合います。

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード (□44)
 - 美肌効果の度合いを設定できます。
-  (らくらくオート撮影) モード (□33)
- シーンモード (□35) の [ポートレート]、[夜景ポートレート]

撮影後にも、記録した画像に [メイクアップ効果] で [美肌] などの編集ができます (□67)。

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理される場合があります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影 (□64) をお試しください。

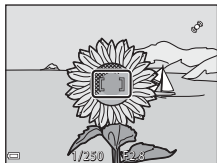
フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

- 1  (オート撮影) モードで [AFエリア選択] を [中央] に設定する (P55)

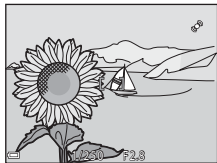
- 2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



- 3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



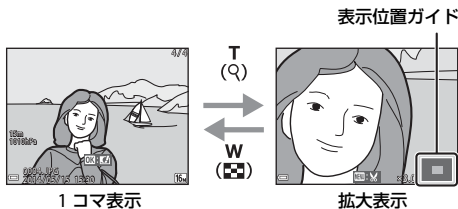
- 4 シャッターボタンを全押しして撮影する



いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示 (□30) でズームレバーを**T (Q)**側に動かすと、拡大表示されます。



- 拡大率を調節するには、ズームレバー (**W (R)** / **T (Q)**) を動かします。
- 表示位置を移動するには、マルチセクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します (連写した画像を除く)。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中に**OK**ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

画像をトリミングするには

拡大表示中に**MENU**ボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます (**20**)。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示 (□30) でズームレバーをW (☒) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。




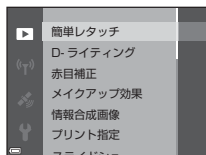
- 表示コマ数は、ズームレバー (W (☒) / T (Q)) で変更できます。
- サムネイル表示でマルチセクターの▲▼◀▶で、画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で、▲▼◀▶で、日付を選んでOKボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。














☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2014年1月1日」の画像として扱われます。

MENUボタンで設定できる機能（再生メニュー）

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと、以下のメニュー操作ができます（6）。



項目	内容	
簡単レタッチ [※]	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。	 15
D-ライティング [※]	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。	 15
赤目補正 [※]	フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって瞳の部分が赤くなってしまった画像を補正します。	 16
メイクアップ効果 [※]	撮影した画像から人物の顔を検出し、メイクアップ効果を付けます。	 17
情報合成画像 [※]	撮影時に記録した高度計や電子コンパスなどの情報を画像に写し込みます。	 18
プリント指定	どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ設定します。	 45
スライドショー	画像を1コマずつ順番に自動再生します。	 48
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、保護します。	 49
画像回転	表示画像を縦位置または横位置に回転します。	 50
スモールピクチャー [※]	サイズの小さい画像を作成します。	 19
音声メモ	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声メモを付けます。	 51
画像コピー	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーします。	 52

項目	内容	
連写グループ表示方法	<p>連写した一連の画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表画像の表示中にⓧ ボタンを押すと、1コマずつ表示します。マルチセクターの▲を押すと、代表画像に戻ります。 	👓53
連写の代表画像選択	連写した一連の画像の代表画像を変更します。	👓53
お気に入り登録	<p>お気に入りの画像を選んで登録します。</p> <p>お気に入り再生モードのときは、表示されません。</p>	👓5
お気に入り解除	<p>お気に入り登録を解除します。</p> <p>お気に入り再生モードのときのみ、表示されます。</p>	👓7

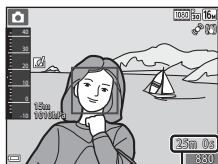
※ 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。

動画を撮影、再生する

動画を撮影する

1 撮影画面を表示する

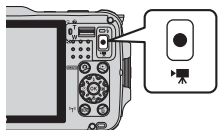
- 記録できる時間を確認します。
- セットアップメニューの [モニター設定] (□76) の [モニター表示設定] で [動画枠+情報オート] にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。



動画の記録可能時間

2 ● (▶ 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択] (□73) の設定によって異なります。初期設定は、[顔認識オート] です。
- マルチセレクターの ▶ を押すと撮影を一時停止し、もう一度 ▶ を押すと撮影を再開します。([動画設定] を [iFrame 720/30p] / [iFrame 720/25p]、または HS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。



動画を撮影、再生する

3 ● (▶ 動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

✓ 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、SDカードの種類によって異なることがあります。

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✓ 動画撮影についてのご注意

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（※31）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 内蔵メモリーを使うと、動画の記録に時間がかかることがあります。
- 動画のファイルサイズによっては、内蔵メモリーに記録できないことがあります。また、SDカードから内蔵メモリーにコピーできないことがあります。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中のモニター画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

- 動画メニューの[動画手ブレ補正] (□73) を [する (ハイブリッド)] に設定すると、動画撮影時に画角（写る範囲）が狭くなります。
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐため、[動画手ブレ補正] を [しない] に設定してください。

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合があります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数 (10s) が画面に表示されます。自動終了後、電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」 (□63) では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの[AFエリア選択] を [中央] に、[AFモード] を [シングルAF] (初期設定) にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して ● (▶ 動画撮影) ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面左上に📷が表示されます。📷が表示されているときは、静止画を記録できません。
- 記録される静止画の画像サイズは、**[動画設定]** (□73) と同じ画像サイズになります。



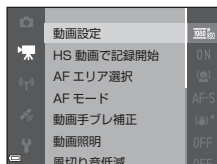
✓ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
 - 動画撮影の一時停止中
 - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
 - **[動画設定]** が 1080 [1080/60i]、1080 [1080/50i]、480 [480/30p]、480 [480/25p]、HS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、滑らかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

MENU ボタンで設定できる機能（動画メニュー）

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → Ⓜ ボタン

以下のメニュー項目の設定が変更できます。



項目	内容	
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画があります。 ・ 初期設定： [1080/30p] / [1080/25p]	54
HS 動画で記録開始	HS動画を撮影するときに、HS動画で開始するか、通常速度で開始するかを設定します。 ・ 初期設定：[する]	58
AFエリア選択	動画撮影時のAF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を設定します。 ・ 初期設定：[顔認識オート]	58
AFモード	動画撮影開始時のピントに固定する [シングルAF]、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す [常時AF] に設定します。 ・ 初期設定：[シングルAF]	59
動画手ブレ補正	動画撮影時の手ブレ補正を設定します。 ・ 初期設定：[する (ハイブリッド)]	60
動画照明	動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明を点灯するか設定します。 ・ 初期設定：[しない]	60
風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。 ・ 初期設定：[しない]	61
フレームレート設定	動画撮影時のフレームレートを選びます。	61

動画を撮影、再生する

動画を再生する

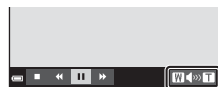
▶ボタンを押して再生モードにします。
動画設定 (📖73) のアイコンが表示されている
画像が動画です。

Ⓞボタンを押すと、再生できます。



動画設定

- 音量を調節するには、再生中にズームレバー (🔊2) を動かします。



音量表示

動画再生中の操作

画面下部には操作パネルが表示されます。マルチセクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、ⓧボタンを押すと以下の操作ができます。





機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	ⓧボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶	ⓧボタンを押している間、早送りします。
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。
		◀◀ コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶▶ コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
		▶ 再生を再開します。
		📺 撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
		📷 撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。

動画の削除

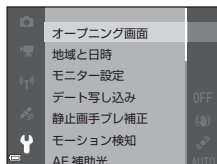
動画を削除するには、1コマ表示 (📺30) やサムネイル表示 (📷66) で動画を選んで🗑️ボタンを押します (📺31)。

カメラに関する基本設定

MENU ボタンで設定できる機能（セットアップメニュー）

MENUボタンを押す →  (セットアップ)メニューアイコン →  ボタン

以下のメニュー項目の設定が変更できます。



項目	内容	
オープニング画面	電源をONにしたときに、モニター画面にオープニング画面を表示するかどうかを設定します。	 62
地域と日時	内蔵時計を合わせます。	 63
モニター設定	モニター表示設定、撮影後の画像表示または画面の明るさを設定します。	 65
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	 67
静止画手ブレ補正	静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。	 68
モーション検知	静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。	 69
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	 69
電子ズーム	電子ズームの動作を設定します。	 70
操作音	操作音について設定します。	 70
アクション操作の感度	カメラを振って操作（アクション操作）するときの感度を設定します。	 71
アクション画像送り	再生モードの1コマ表示中にカメラを振って画像を選べるようにするか設定します。	 71
アクション地図操作	地図表示中にカメラを振って地図を拡大/縮小できるようにするか設定します。	 72

項目	内容	📖
オートパワーオフ	節電のためにモニターが消灯するまでの時間を設定します。	🔗72
メモリーの初期化/ カードの初期化 (フォーマット)	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	🔗73
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。	🔗74
TV出力設定	テレビとの接続に必要な設定をします。	🔗74
パソコン接続充電	パソコンと接続したときに、カメラ内の電池を充電するかどうかを設定します。	🔗75
目つぶり検出設定	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	🔗76
Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうかを設定します。	🔗77
設定クリアー	カメラの設定を初期設定にリセットします。	🔗78
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	🔗78



位置情報機能を使う/地図を表示する

位置情報記録を開始する


このカメラは、測位衛星から電波を受信して、現在の時刻と位置情報を取得できます。

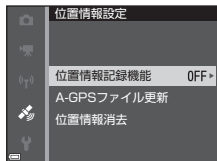
取得した位置情報（緯度と経度）は、撮影する画像に記録できます。


位置情報機能をONにする

MENU ボタンを押す → （位置情報設定）メニューアイコン → 位置情報設定 →  ボタン

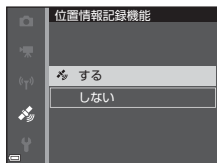
カメラの [地域と日時] (□□76) は、位置情報機能を使う前に、正しく設定してください。

- 1 マルチセレクターの▲▼で [位置情報記録機能] を選び、 ボタンを押す



- 2 [する] を選び、 ボタンを押す

- ・ 測位衛星から電波を受信し、測位が始まります。



- 3 MENU ボタンを押す

- ・ 撮影画面に戻ります。
- ・ 測位衛星からの電波の受信を開始するときは、空のひらけた屋外で操作してください。

✓ 位置情報機能についてのご注意

- 位置情報機能をお使いの前に、「<重要>位置情報機能（GPS/GLONASS、電子コンパス）についてのご注意」(□□xx)をお読みください。
- はじめて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、電池を交換したときは、位置情報を取得するまで数分かかります。
- 測位衛星の位置は常に変化しています。
お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。
位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。
測位アンテナ部 (□□1) を空に向けてと受信しやすくなります。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかつたり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
 - 建物の中や地下
 - 高層ビルの間
 - 高架の下
 - トンネルの中
 - 高圧電線などの近く
 - 密集した樹木の間
 - 水中
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなる場合があります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。
金属製のものでおおうと測位できません。
- 測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。
画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- 連写した画像には、1コマ目の位置情報が記録されます。

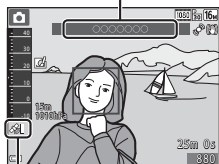
✓ 位置情報記録、ログ取得時の電源と電池の消耗について

- [位置情報記録機能] を [する] にしていると、カメラの電源を OFF にした後も、位置情報記録機能が一定の間隔で約6時間作動します。また、ログ取得中 (☑88) は、カメラの電源をOFFにした後も、位置情報記録機能やログ取得機能が作動します。
- [位置情報記録機能] が [する] 時やログ取得時は、電池を通常より消耗します。特に [全ログ取得開始] や [水深ログ取得開始] を選んでログを取得するときは、電池残量にご注意ください。

📌 位置情報受信状態表示と地名情報 (POI情報) について

- 位置情報受信状態は、撮影画面で確認できます。
 - 📶: 4つ以上の衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
 - 📶: 3つの衛星から受信して測位していません。画像に位置情報が記録されます。
 - 📶: 衛星から受信していますが、測位できていません。画像に位置情報は記録されません。
 - 📶: 衛星から受信ができず、測位できません。画像に位置情報は記録されません。
- ランドマーク名 (施設名) などの地名情報をPOI情報といいます。
 - 位置情報設定メニュー (☑87) の [POI設定] の [POI表示設定] を [する] にすると、撮影時には現在地に最も近い地名情報を表示します。
 - [POI記録] を [する] にすると、撮影時に画像に地名情報を記録できます。
 - 地名情報を記録した画像の再生時は、[POI表示設定] を [する] にすると、撮影時の地名情報を表示します。
- [POI設定] の [POI表示レベル設定] の設定したレベルによっては、地名情報が表示されない場合があります。また、意図したランドマーク名が登録されていないか、ランドマーク名が異なる場合があります。

地名情報 (POI情報)

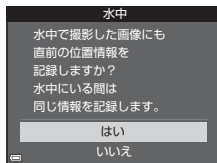


位置情報受信状態

水中での位置情報記録について

測位しているときに、シーンモードを[水中]に設定する、または📷(らくらくオート撮影)モードにして水中に入ると、右図のような画面が表示されます。


[はい]を選んでOKボタンを押すと、水中に入る前、最後に測位した位置情報を、水中で撮影した画像にも記録します。



位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時に📍が表示されます (📖10)。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX 2を使って位置情報を地図上で確認できます (📖94)。
- 画像ファイルに記録されている位置情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。
- 画像に記録された位置情報と POI 情報は、[位置情報設定] の [位置情報消去] を使って消去できます (📖87)。消去した情報は、元に戻せません。


地図を表示する



カメラ内蔵の地図情報を使って、現在地や画像の撮影場所を画面上に表示できます。撮影モードまたは再生モードで  (地図) ボタンを押すと、地図が表示されます。

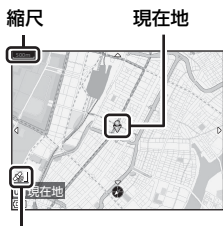


- 本体充電ACアダプターを接続して充電中は、地図を表示できません。



撮影モード時

位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] が [する] のときに撮影モードで  (地図) ボタンを押すと、現在地を画面上に表示します。

- 現在地を表示するには、位置情報が取得できている必要があります。
- 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー (W  / T ) を操作します。



位置情報受信状態

- 地図表示を移動するには、マルチセレクターを使います。
-  ボタンを押すと、以下の操作ができます。
 - [現在地へ戻る] : 現在地を地図の中心に表示します。
 - [地点登録する] : 地図上で場所を選び、 ボタンを押すと、地点として登録できます。
 - [登録地点に移動する] : 地点登録した場所を選んで、地図を移動します (□85)。地点登録を解除できます。
- カメラのレンズを下に向けると、コンパス (方位計) が表示されます。位置情報設定メニュー [コンパス表示] が [しない] に設定されていても表示されます。



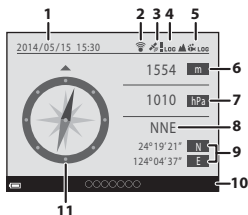
✓ 地図表示についてのご注意

- 地図表示は回転できません。画面の上が北を指すノースアップ表示のみです。
- 地図を表示する国によって地図表示の縮尺が異なります。
- 撮影モードで、位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] が [しない] のとき、または測位ができていないときは、セットアップメニュー (□□76) [地域と日時] の [タイムゾーン] で設定した地域を中心にした世界地図、または直前に表示した地図が表示されます。

📍 方位と位置情報の表示について

撮影モードで地図表示中、または電源OFFの状態でも📍 (地図) ボタンを長押しすると、方位や位置情報などが表示されます。

- 1 日時
- 2 Eye-Fi通信表示
- 3 位置情報受信状態
- 4 ログ取得表示 (位置情報)
- 5 ログ取得表示 (高度/水深)
- 6 高度
- 7 気圧
- 8 方位
- 9 緯度、経度
- 10 地名情報 (POI情報) ※
- 11 コンパス表示



※ [POI設定] の [POI表示レベル設定] の設定したレベルによっては、地名情報が「----」と表示される場合があります。

再生モード時

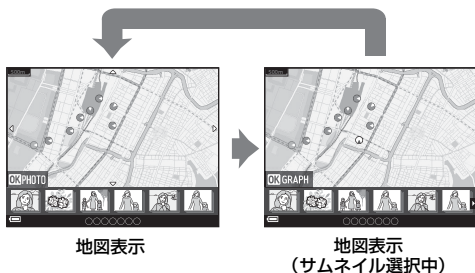
1コマ表示で📷が表示されている画像を選び、🗺️（地図）ボタンを押すと、画像の撮影場所を画面上に表示します。

- 地図と撮影場所を表示するには、再生する画像に位置情報が記録されている必要があります。
- 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー（**W** 🗻） / **T** (Q)）を操作します。
- 地図表示を移動するには、マルチセクターを使います。


縮尺






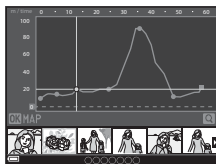
地名情報 (📖80)










- **OK** ボタンを押すと、他の画像を選べます。サムネイル表示には、位置情報を記録した画像のみ表示されます。

- サムネイル表示中にボタンを押すと、以下の操作ができます。

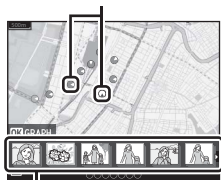
- [地図をスクロールする]: 地図表示画面に戻ります。
- [高度/水深ログ]: [ログ取得] (88) で高度ログ/水深ログを記録している間に撮影した画像の場合は、高度ログ/水深ログのグラフ (88) が表示されます。
- [地点登録する]: 表示中の画像の撮影場所を地点として登録できます。
- [登録地点に移動する]: 地点登録した場所を選んで、地図を移動します (85)。地点登録を解除できます。



高度ログ/水深ログ
グラフ表示

- 地図表示のは画像の撮影場所とおおよその方位 (の場合は北向き) を示し、選択中の画像は黄色で表示されます。
- マルチセクターの を押して、画像を選びます。
- ズームレバーを **T** ( ) 方向に操作すると、画像を拡大表示できます。**W** () 方向に操作すると、地図表示に戻ります。







画像の撮影場所・方位



サムネイル表示

地点登録について



登録できる地点は30件までです。

- [登録地点に移動する] を選ぶと、画面の中央から一番近い登録地点に地図がスクロールします。
- マルチセクターの    で登録地点を移動します。
- 登録を解除するには、 ボタンを押します。
-  ボタンを押すと、もとの画面に戻ります。

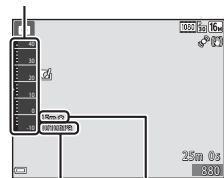


高度計/水深計を使う

現在地の高度や水深、気圧を画面上に表示したり、撮影した画像に記録したりできます。

- あらかじめ位置情報設定メニュー [高度/水深補正] を使って数値を補正してください。水中で使用する前には、必ず水上で0 mに補正をしてください。こまめに補正することで、より正確な高度/水深を表示できます。高度/水深を補正すると、高度表示/水深表示の横にが表示されます。
- 高度/水深、気圧は常に表示されます。
- 高度計/水深計は、位置情報設定メニュー (☞87) [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] が [する] (初期設定) のときに表示されます。
- 水深計、水深表示は、シーンモードを [水中] に設定したとき、または  (らくらくオート撮影) モードにして水中に入ったときに表示されます。
- 高度計、高度表示の表示範囲は、-300 m ~ +4500 m です。
- 水深計、水深表示の表示範囲は、0 m ~ 20 m です。

高度計または水深計



気圧表示
高度表示または水深表示

高度計/水深計についてのご注意



- このカメラの高度計 / 水深計を登山やダイビングなどの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 高度は気圧計を使って測定しているため、気象条件によっては正しく表示されないことがあります。
- [高度計/水深計表示] が [する] のとき、高度計/水深計、気圧表示は、セットアップメニュー (☞76) [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報 OFF] の場合でも、表示されます。
- シーンモードを [水中] にしているときに、カメラが水中に無い場合は、水深計の表示が0 mに固定されます。
- 水深15 mを超えると、水深計の表示はオレンジ色に変わります。水深18 mを超えると、水深計の表示は赤色に変わります。

高度ログ/水深ログについて



位置情報設定メニュー [ログ取得] を設定すると、高度や水深の情報を一定間隔で記録できます。

- [全ログ取得開始] を選ぶと、位置情報、高度情報、水深情報のログの取得を開始します。
- [水深ログ取得開始] を選んで水中に入ると、水深ログのみの取得を開始します。記録したログは [ログデータ表示] でグラフ表示できます。

関連ページ

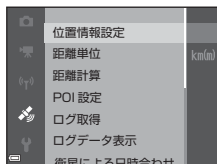
情報合成画像（高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む）→  67、 18





MENU ボタンで設定できる機能（位置情報設定メニュー）








MENU ボタンを押す →  （位置情報設定）メニューアイコン →  ボタン

以下のメニュー項目の設定が変更できます。

- 地図表示中に MENU ボタンを押しても、位置情報設定メニューを表示できます。



項目	内容	
位置情報設定	位置情報機能を使うための設定をします。A-GPS ファイルを更新するには、下記の URL にアクセスしてください。 http://nikonimglib.com/agps3/ <ul style="list-style-type: none">• 初期設定： - [位置情報記録機能]：[しない]	 79
距離単位	地図表示の距離単位を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 初期設定：[km (m)]	 80
距離計算	現在地から画像の撮影場所、または画像の撮影場所間の直線距離を計算します。	 81

項目	内容	
POI設定	POI (Point of interest、地名情報) に関する設定をします。 ・ 初期設定： - [POI記録]：[しない] - [POI表示設定]：[しない] - [POI表示レベル設定]：[レベル6] (詳細)	 82
ログ取得	測位した位置情報、高度情報、水深情報のログ取得について設定します。 取得したログデータを消去、またはSDカードに保存します。 ・ 初期設定： - [全ログ取得開始] → [ログ取得間隔]：[15秒]、[ログ取得開始]：[24時間] - [位置情報ログ取得開始] → [ログ取得間隔]：[15秒]、[ログ取得開始]：[24時間] - [水深ログ取得開始] → [ログ取得間隔]：[1分]	 83
ログデータ表示	SDカードに保存したログデータの確認や削除をします。	 86
衛星による日時合わせ	測位衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します。	 88
電子コンパス設定	電子コンパスを表示するか設定します。 表示する電子コンパスの補正をします。 ・ 初期設定： - [コンパス表示]：[しない]	 89
高度/水深設定	高度計または水深計を表示するか設定します。 表示する高度計/水深計の補正をします。 ・ 初期設定： - [高度計/水深計表示]：[する] - [高度/水深単位]：[m]	 91

Wi-Fi（無線LAN）を使う

Wi-Fi機能でできること

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

以下の2つの方法で静止画が撮れます。

- カメラのシャッターをきり、撮影しながら画像をスマートデバイスに取り込む。
- リモート操作※により、スマートデバイスでカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。

※リモート操作中はカメラの操作はできません。

写真を見る

カメラのSDカードに保存されている画像をスマートデバイスに取り込んで表示できます。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする



- 1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する

• 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。


- 2 説明や情報を確認し、インストールする

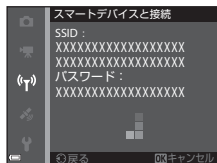
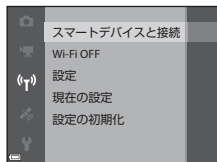
- ソフトウェアの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書をダウンロードしてご覧ください。
 - Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>
 - iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラとスマートデバイスを接続する


MENU ボタンを押す → メニューアイコン → ボタン

1 マルチセレクターの▲▼で [スマートデバイスと接続] を選び、ボタンを押す

- [スマートデバイスと接続] が選べないと
き → 「Wi-Fi接続についてのご注意」
(91)
- Wi-Fi機能がONになり、カメラのSSIDとパスワードが表示されます。
- スマートデバイスからの接続通信が3分以内
にないと、「アクセスありませんでした。」
を表示して、Wi-Fi設定画面に戻りま
す。



2 スマートデバイスのWi-Fi設定をONにする

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- スマートデバイスに利用可能なネットワーク名 (SSID) が表示されたら、
カメラに表示されているSSIDを選びます。
- パスワードの入力を求められたら、カメラに表示されているパスワードを
入力します。
- 接続が完了するとカメラは撮影画面になり、Wi-Fi 通信表示アイコンが表
示されます (9)。

3 スマートデバイスにインストール済みの「Wireless Mobile Utility」を起動する



- 「写真を撮る」または「写真を見る」を選ぶ画面が表示されます。
- 「カメラと接続できません。」が表示されたときは、手順1からやり直して
ください。

Wi-Fi接続を解除するには

以下のいずれかの操作をします。

- カメラの電源をOFFにする
- カメラのWi-Fi設定メニューで **[Wi-Fi OFF]** を設定する（リモート操作時を除く）
- スマートデバイスのWi-Fi設定をOFFにする

Wi-Fi接続についてのご注意

- 以下の場合は、**[スマートデバイスと接続]** を選べません。
 - SDカードを挿入していないとき
 - Eye-Fiカード (E677) を挿入しているとき
 - カメラをテレビ、パソコンまたはプリンターに接続しているとき
 - モニター画面の電池残量表示が  のとき。また、Wi-Fi接続中に  になると接続が解除されます。
- 電波の出力が禁止されている場所では、**[Wi-Fi OFF]** を設定してください。
- Wi-Fi接続中は、**[オートパワーオフ]** は無効になります。
- Wi-Fi接続中は、電池を通常より消耗します。

セキュリティー設定について

Wi-Fi機能を搭載したカメラは、セキュリティー（暗号化やパスワード）を設定しないと、第三者に不正侵入される可能性があります。

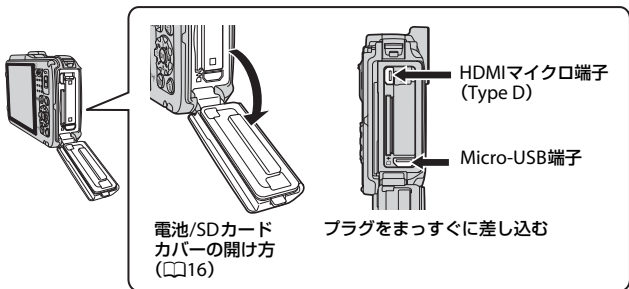
お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーを設定してからお使いください。

Wi-Fi設定メニュー (E92) の **[設定]** で設定できます。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

カメラとの接続方法

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-62Fを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。



パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。

接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください (📖94)。
- パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SDカードなどが壊れるおそれがあります。



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。

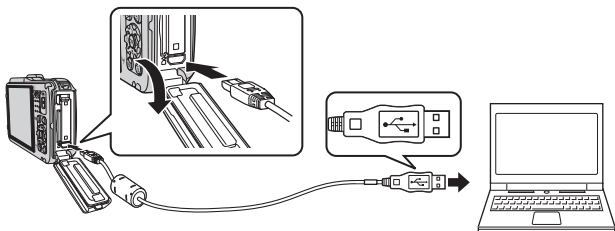
接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する。カメラの電源が自動的にONになります。内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。



- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接 SD カードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- Windows 7 をお使いの場合**
右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

1 [画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用] を選んで、[OK] をクリックする

2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする



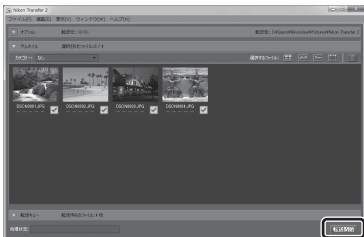
SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

✓ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- ・ **【転送開始】** ボタンをクリックします。



- ・ 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます (ViewNX 2の初期設定)。

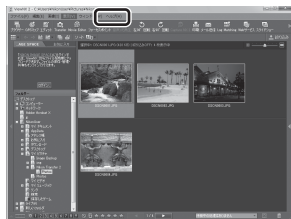
3 接続を解除する

- ・ カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USB ケーブルを抜きます。
- ・ カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。



ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows : デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac : Dock の [ViewNX 2] アイコンをクリックします。



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

かんたんパノラマの使い方（撮影と再生） 2

再生

お気に入り再生モード 5
オート分類再生モード 9
撮影日一覧モード 10
連写した画像（連写グループ）の再生と削除 11
画像の編集（静止画） 13
テレビとの接続（テレビ画面での再生） 21
プリンターとの接続（ダイレクトプリント） 22
動画の編集 28

メニュー

撮影メニュー（（オート撮影）モード） 30
ベストフェイスメニュー 42
再生メニュー 45
動画メニュー 54
セットアップメニュー 62
位置情報設定メニュー 79
Wi-Fi 設定メニュー 92

資料

警告メッセージ 94
記録データのファイル名 99
別売アクセサリ 101

かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）

かんたんパノラマの撮影方法

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （上から2番目のアイコン※） → → → ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

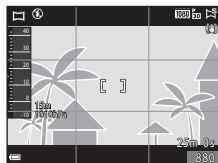
1 撮影する範囲を [標準 (180°)] または [ワイド (360°)] から選び、 ボタンを押す

- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ（ヨコ×タテ）は、以下のとおりです。
 - [標準 (180°)]：
水平に移動時4800×920、
垂直に移動時1536×4800
 - [ワイド (360°)]：
水平に移動時9600×920、
垂直に移動時1536×9600



2 一番端の被写体に構図を合わせ、 シャッターボタンを半押ししてピン トを合わせる

- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- ピントは画面中央で合わせます。



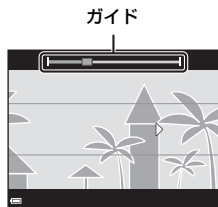
3 シャッターボタンを全押しし、 シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示す マークが表示されます。



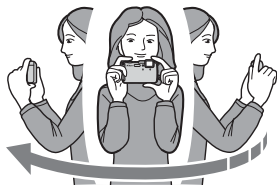
4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。



カメラの動かし方の例

- 撮影者を軸にして、カメラをマーク(△▽◁▷)と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒(📷 [標準(180°)] 時)、または約30秒(📷 [ワイド(360°)] 時)が経過すると撮影は終了します。

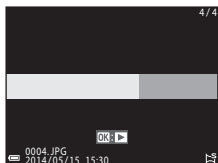


✔ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

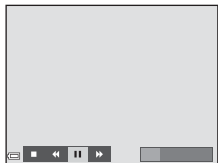
かんたんパノラマで撮影した画像の再生方法

再生モードにして (□30)、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、OK ボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。



再生中は、画面下部に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、OK ボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	OK ボタンを押している間、スクロールを早戻しします。
早送り	▶	OK ボタンを押している間、スクロールを早送りします。
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		◀ OK ボタンを押している間、巻き戻しします。
		▶ OK ボタンを押している間、スクロールします。
	▶	自動スクロールを再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。

✓ スクロール再生についてのご注意

このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

お気に入り再生モード

撮影した画像（動画を除く）をお気に入りに登録すると、登録した画像だけを再生できます。

- ・ 9つあるフォルダーに分類できます。1つのフォルダーには、最大200コマを登録できます。
- ・ 元画像はコピーや移動はされません。
- ・ 同じ画像を複数のフォルダーに登録できます。

お気に入りフォルダーに画像を登録する

▶ボタンを押す（再生モード※）→ MENUボタン → ▶/AUTO/12メニューアイコン → お気に入り登録 → OKボタン

※ お気に入り再生モードでは、登録できません。

1 マルチセクターの◀▶で登録したい画像を選び、▲で★を表示する

- ・ 複数の画像に★を付けられます。非表示にするには、▼を押します。
- ・ ズームレバー（□2）をT（Q）側に動かすと1コマ表示に、W（□）側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 設定が終わったら、OKボタンを押す

3 登録したいフォルダーを選び、OKボタンを押す

- ・ 登録が完了します。



お気に入りフォルダーの画像を再生する

▶ ボタンを押す（再生モード） → ▶ ボタン → ☆ お気に入り再生 → OK ボタン

マルチセクターでフォルダーを選び、OK ボタンを押すと、選んだフォルダー内の画像を再生します。

- 選んだフォルダー内の画像を対象に、再生メニュー（□□67）の機能が使えます（[画像コピー]、[お気に入り登録]を除く）。
- お気に入りフォルダーの選択画面では、以下の操作ができます。
 - MENU ボタン：選んだフォルダーのアイコンを変更できます（👁8）。
 - 🗑 ボタン：選んだフォルダーに登録した元画像をすべて削除します。



✓ 削除についてのご注意

お気に入り再生モードで画像を削除すると、元画像が削除されます。登録を解除するときは、「お気に入りフォルダーの画像登録を解除する」（👁7）をご覧ください。

お気に入りフォルダーの画像登録を解除する

お気に入り再生モードにする → 登録を解除したいフォルダーを選ぶ
→ **OK** ボタン → **MENU** ボタン → お気に入り解除 → **OK** ボタン

- 1 マルチセクターの◀▶で解除したい画像を選び、▲で★を非表示にする

- ・ 再表示するには▼を押します。
- ・ ズームレバー (□2) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (□) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



- 2 設定が終わったら、**OK** ボタンを押す

- 3 **[はい]** を選んで**OK** ボタンを押す

- ・ 解除をやめるときは、**[いいえ]** を選びます。

お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

▶ボタンを押す（再生モード）→▶ボタン→★お気に入り再生→
OKボタン

- 1 マルチセクターでフォルダーを選び、MENUボタンを押す



- 2 ◀▶でアイコンの色を選び、OKボタンを押す






- 3 アイコンを選び、OKボタンを押す
・アイコンが変更されます。





オート分類再生モード

撮影画像は、撮影時の設定に応じて人物、風景、動画などの項目別に自動分類されます。

▶ ボタンを押す（再生モード） → ◻ ボタン →  オート分類再生 →  ボタン

マルチセレクターで分類を選び、 ボタンを押すと、選んだ分類の画像を再生します。

- 選んだ分類の画像を対象に、再生メニュー（67）の機能が使えます（[画像コピー]、[お気に入り解除]を除く）。
- 分類の選択画面で  ボタンを押すと、選んだ分類の元画像をすべて削除できます。



オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類で表示できるのは、最大999コマです。
- このカメラ以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

撮影日一覧モード

▶ ボタンを押す（再生モード） → ▶ ボタン → 撮影日一覧 → OK ボタン

マルチセレクトで日付を選び、OK ボタンを押すと、選んだ撮影日の画像を再生します。

- 選んだ撮影日の画像を対象に、再生メニュー（**67**）の機能が使えます（[画像コピー]、[お気に入り解除]を除く）。
- 撮影日の選択画面では、以下の操作ができます。

- MENU ボタン：以下の機能が使えます。

- プリント指定*
- スライドショー
- プロテクト設定*

※ 選んだ撮影日の画像をすべて同じ設定にできます。

- 削除ボタン：選んだ撮影日の画像を、すべて削除します。

撮影日一覧	
	2014/05/20 [3]
	2014/05/15 [2]
	2014/05/10 [1]
	2014/05/05 [10]

✓ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は、最新の撮影日から過去 29 日分までです。それ以前の画像は、[過去画像] に分類されます。
- 表示できる画像は、最新の画像から 9,000 コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2014年1月1日」の画像として扱われます。

連写した画像(連写グループ)の再生と削除

連写グループの再生方法

連写した画像は「連写グループ」として保存されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマ目を代表画像として表示します(初期設定)。

グループ内の画像を1コマずつ表示するには、**OK** ボタンを押します。

OK ボタンを押したあとの操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、マルチセレクターの◀▶を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、▲を押し、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生したいときは、再生メニュー「**連写グループ表示方法**」を「**1枚ずつ**」にしてください(👁53)。




✓ 連写グループの表示方法について

このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

📎 連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中に**MENU** ボタンを押すと、再生メニュー(🗨67)の機能が選べます。
- 代表画像で**MENU** ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
 - お気に入り登録、プリント指定、プロテクト設定、画像コピー

連写グループの画像を削除する

連写グループでは、 ボタンを押すと、表示している画像によって削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
 - [表示画像]： 表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]： 削除画像の選択画面（□□32）で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
 - [全画像]： 内蔵メモリまたは SD カード内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中：
 - [表示画像]： 表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]： グループ内の画像を選択して削除します。
 - [表示グループ]： 表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。



画像編集の制限

画像は、10回まで編集できます。

クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）

クイックエフェクトの種類	内容
ポップ/極彩色	主に色を強調して効果を付けます。
絵画調/ハイキー/トイカメラ風 1/ トイカメラ風 2/ローキー/ クロスプロセス（赤）/クロスプロセス （黄）/クロスプロセス（緑）/ クロスプロセス（青）	主に色合いを変化させ、雰囲気の異なる画像にします。
ソフト/ソフトポートレート/魚眼効果/ クロススクリーン/ミニチュア効果	画像を加工して、さまざまな効果を付けます。
硬調モノクローム/セピア/クール/ セレクトカラー	カラーの画像を1色で表現します。セレクトカラーは、特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
かすみ取り	水中での撮影などで起こりがちな画像のかすみを軽減します。

- 1 効果を付けたい画像を1コマ表示して、**OK** ボタンを押す



- 2 マルチセクターの◀▶で効果を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ズームレバー（**Q2**）を**T**（**Q**）側に動かすと効果確認画面が表示され、**W**（**Q2**）側に動かすと効果選択画面に戻ります。
- ・効果を付けた画像を保存せずに終了するには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 **[はい]** を選び、**OK** ボタンを押す

- ・編集画像が作成されます。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

▶ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン → 簡単レタッチ → OK ボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀を押します。



D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

▶ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン → D-ライティング → OK ボタン

マルチセレクターの▲▼で [実行] を選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、[キャンセル] を選び、OK ボタンを押します。

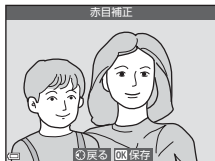


赤目補正（フラッシュ撮影による赤目を補正する）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン → 赤目補正 → OK ボタン

効果を確認し、OK ボタンを押す

- 中止するときは、マルチセレクターの◀を押します。



✓ 赤目補正についてのご注意

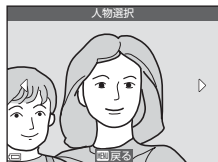
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ペット（犬または猫）の場合、目の色が赤以外の場合でも補正されます。
- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン →
メイクアップ効果 → OK ボタン

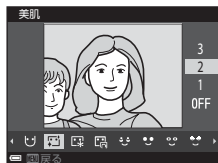
1 マルチセレクトターの▲▼◀▶で編集する人物を選び、OK ボタンを押す

- 検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでください。



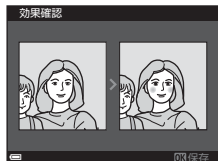
2 ◀▶で効果の種類を、▲▼で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- 同時に複数の効果を付けられます。
OK ボタンを押す前に、すべての効果を設定または確認してください。
- 😊 (小顔)、👉 (美肌)、👉 (美白)、👉 (テカリ軽減)、😁 (クマ軽減)、😁 (ビッグアイ)、😊 (ホワイトアイ)、👉 (アイシャドウ)、👉 (マスカラ)、👉 (歯のホワイトニング)、😁 (リップカラー)、👉 (チーク)
- 人物の選択画面に戻るには、MENU ボタンを押します。



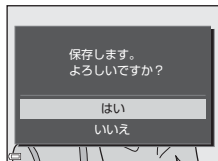
3 効果を確認し、OK ボタンを押す

- 設定をやり直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、MENU ボタンを押します。



4 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



✓ メイクアップ効果についてのご注意

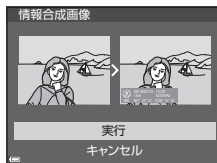
- メイクアップ効果で編集できる顔は1人のみです。作成した編集画像に対して、別の顔を選んで編集する操作を繰り返すと、最大10人（10回）の編集ができます。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- ISO感度が1600以下の条件で撮影した画像のみ、メイクアップ効果の編集ができます。

情報合成画像 (高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む)

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン → 情報合成画像 → OK ボタン

マルチセクターの▲▼で [実行] を選び、OK ボタンを押す

- 画像に写し込まれる情報は、画像に記録された高度/水深、気圧、電子コンパス、日時、緯度、経度です（□10）。
- 中止するときは、[キャンセル] を選び、OK ボタンを押します。




✓ 情報合成画像についてのご注意

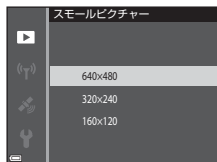
- 画像に記録されていない情報は写し込まれません。
- 画像サイズが小さい画像の場合は情報が正常に表示されないことがあります。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン → スモールピクチャー → OK ボタン

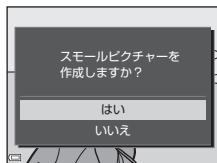
- 1 マルチセクターの▲▼でスモールピクチャーのサイズを選び、OK ボタンを押す

-  [4608 × 2592] の画像は、640 × 360 のサイズになります。手順2へ進んでください。



- 2 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/8）。






スモールピクチャーについてのご注意

アスペクト比1:1の画像は編集できません。

トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（65）

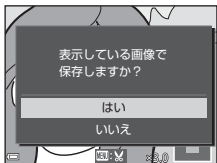
2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENUボタンを押す

- ・ズームレバーを**T**（）または**W**（）側に動かして拡大率を調節します。**MENU**:が表示される拡大率にしてください。
- ・マルチセレクターの**▲▼◀▶**で表示範囲を移動します。



3 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す


- ・編集画像が作成されます。



画像サイズについて

トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。

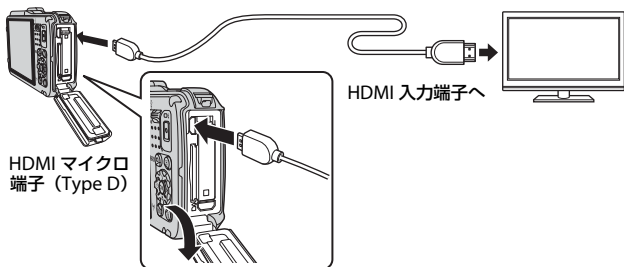
縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには

[画像回転]（50）で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐ引き抜いてください。

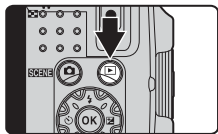


2 テレビの入力を外部入力に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの▶ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラのモニターは点灯しません。



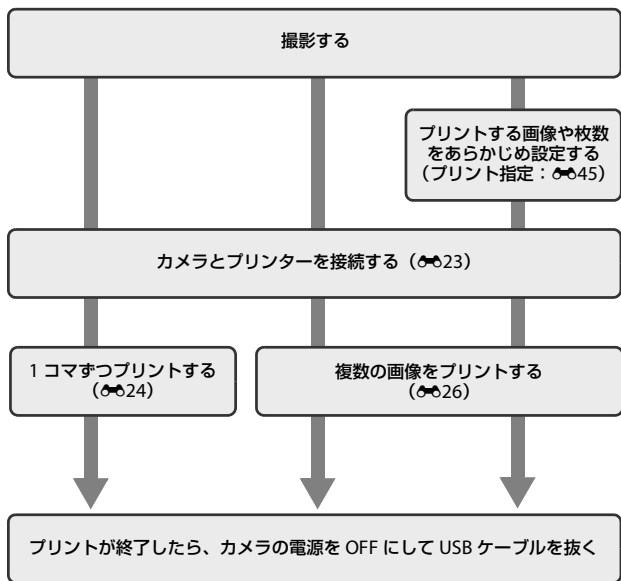
テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）

HDMI-CEC対応テレビのリモコンで、画像の選択や動画の再生/停止、1コマ表示と4コマのサムネイル表示の切り換えなどができます。

- カメラの [TV出力設定] の [HDMI 機器制御] (6674) を [する] (初期設定) にし、HDMIケーブルで接続してください。
- リモコンは、テレビに向けて操作してください。

プリンターとの接続(ダイレクトプリント)

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。



カメラとプリンターを接続する

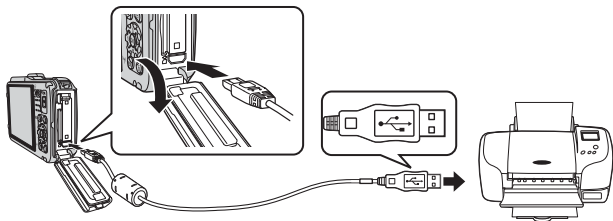
1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- ・ プリンターの設定を確認します。

3 USBケーブルでカメラとプリンターを接続する

- ・ プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



4 カメラの電源が自動的にONになる

- ・ カメラのモニター画面に [PictBridge] 画面 (①) が表示された後、[プリント画像選択] 画面 (②) が表示されます。





✓ PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[パソコン接続充電] (🔌75) を [オート] にするとプリントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[パソコン接続充電] を [しない] に設定してから、再接続してください。

1コマずつプリントする

1 マルチセクターでプリントする画像を選び、**OK**ボタンを押す

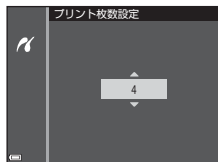
- ・ズームレバーを **W** () 側に動かすと一覽表示に、**T** () 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



2 ▲▼で [プリント枚数設定] を選び、**OK**ボタンを押す



3 プリント枚数 (9枚まで) を設定し、**OK**ボタンを押す

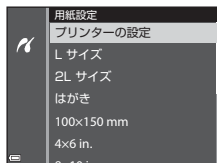


4 [用紙設定] を選び、**OK** ボタンを押す



5 用紙サイズを選び、**OK** ボタンを押す

- プリンター側の設定を優先したいときは、**[プリンターの設定]** を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



6 [プリント実行] を選び、**OK** ボタンを押す

- プリントが始まります。
- プリントを中止したいときは、**OK** ボタンを押します。



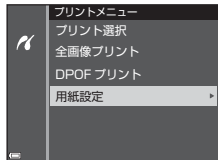
複数の画像をプリントする

- 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU ボタンを押す



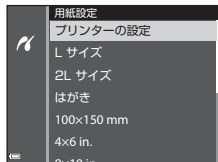
- 2 マルチセレクターの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。

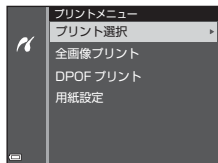


- 3 用紙サイズを選び、OK ボタンを押す

- プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



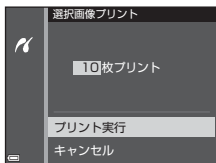
- 4 [プリント選択]、[全画像プリント] または [DPOFプリント] を選んで、OK ボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

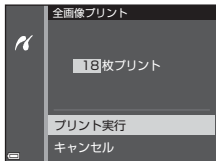
- マルチセレクターの◀▶で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️とプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーをT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- 右の画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。

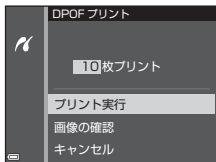


DPOFプリント

[プリント指定] (P45) であらかじめ指定しておいた画像をプリントします。

- 右の画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。

[画像の確認]を選んでOKボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度OKボタンを押すと、画像のプリントが始まります。



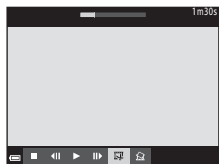
動画の編集

動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

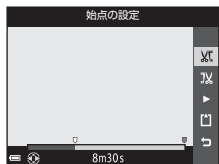
- 1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (☞74)

- 2 マルチセレクターの◀▶で操作パネルの📺を選び、Ⓞボタンを押す



- 3 ▲▼で編集操作パネルの📏(始点の設定)を選ぶ

- ・◀▶で、始点を調節します。
- ・編集を中止するには、⏪(戻る)を選び、Ⓞボタンを押します。



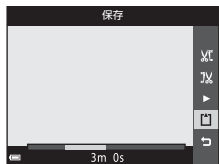
- 4 ▲▼で📏(終点の設定)を選ぶ

- ・◀▶で、終点を調節します。
- ・設定した範囲をプレビューするには、▶を選び、Ⓞボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度Ⓞボタンを押します。




- 5 ▲▼で📁(保存)を選び、Ⓞボタンを押す

- ・画面に従って保存します。




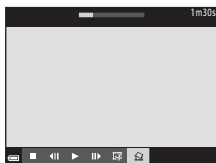
✓ 動画編集についてのご注意




- 編集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示がのときは、動画編集の操作はできません。
- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します (📺75)。
- マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルのを選び、**OK** ボタンを押します。



- 確認画面で**はい**を選び、**OK** ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は標準（圧縮率約1/8）です。画像サイズは元の動画の種類（画像サイズ）(👁54)によって異なります。例えば、 [1080/30p] /  [1080/25p] で撮影した動画から保存した静止画は、 (1920×1080ピクセル) になります。



✓ 静止画保存についてのご注意

 [1080/60i] /  [1080/50i]、 [480/30p]、 [480/25p]、HS 動画 (👁54) で撮影した動画は静止画保存ができません。

撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)

画像モード (画像サイズ/画質)

撮影画面にする → MENU ボタン → 画像モード → OK ボタン

記録する画像サイズ (画像の大きさ) と画質 (画像の圧縮率) の組み合わせを選びます。

画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低いほど高画質になりますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	圧縮率	アスペクト比 (横:縦)
16M* 4608×3456★	約1/4	4:3
16M 4608×3456 (初期設定)	約1/8	4:3
8M 3264×2448	約1/8	4:3
4M 2272×1704	約1/8	4:3
2M 1600×1200	約1/8	4:3
VGA 640×480	約1/8	4:3
16:9 12M 4608×2592	約1/8	16:9
1:1 3456×3456	約1/8	1:1

※ 記録データの総画素数 (ピクセル) と横×縦の画素数を表しています。
例: **16M** 4608×3456: 約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

画像モードの設定について

- 画像モードは、オート撮影モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。




記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます (P22)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。SDカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意







プリンターの設定を「フチあり」にしてください。プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

ホワイトバランス（色合いの調整）



- （オート撮影）モードの撮影画面にする → MENU ボタン →
メニューアイコン → ホワイトバランス → ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

- 通常は [オート] で撮影してください。撮影する画像の色味を変更したい場合は、設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマニュアル	[オート] や [電球] などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います ( 33)。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスについてのご注意

- [オート]、[フラッシュ] 以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを （発光禁止）に設定してください (48)。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 マルチセレクターの▲▼で [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ レンズが測定用のズーム位置になります。



3 [新規設定] を選ぶ

- ・ 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定] を選んで**OK** ボタンを押します。



4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める



測定窓

5 **OK** ボタンを押して測定する

- ・ シャッターがきれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。


✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。

連写

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU ボタン →
📷 メニューアイコン → 連写 → OK ボタン

項目	内容
📷 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
📷H 連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・ 連写速度は約 6.9 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 5 コマです (画像モード 16M [4608 × 3456] 時)。
📷L 連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・ 連写速度は約 2.2 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 33 コマです (画像モード 16M [4608 × 3456] 時)。
📷 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します (📷36)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 ・ 連写速度は約 20 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 25 コマ (先取り撮影の最大 5 コマを含む) です。 ・ 画像モードは 1M (画像サイズ: 1280 × 960 ピクセル) に固定されます。
📷120 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 連写速度は約 120 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 50 コマです。 ・ 画像モードは VGA [640 × 480] に固定されます。
📷60 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 連写速度は約 60 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 25 コマです。 ・ 画像モードは 1M (画像サイズ: 1280 × 960 ピクセル) に固定されます。
BSS BSS (ベストショット セレクター)	シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け (最大10コマ)、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。フラッシュ撮影禁止の場所など、手ブレしやすい状況で静止している被写体を撮影するときに使います。

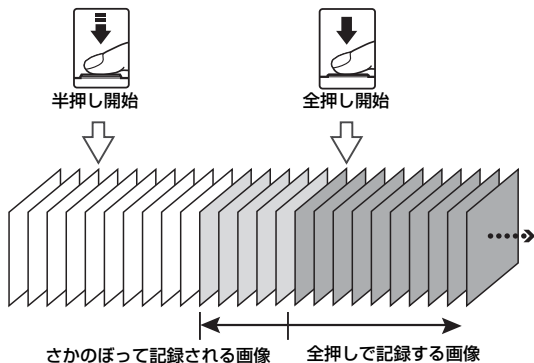
項目	内容
📷 マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると、16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 <ul style="list-style-type: none"> • 連写速度は約 30 コマ/秒です。 • 画像モードは 5M (画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル) に固定されます。 • 電子ズームは使えません。 

✔ 連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[マルチ連写] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。

先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン (📷) が緑色に変わります。

ISO感度設定

- 📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU ボタン →
- 📷 メニューアイコン → ISO感度設定 → OK ボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	ISO 125～1600の範囲で自動設定します。
<small>ISO AUTO</small> 感度制限オート	自動設定範囲を [ISO 125-400]、[ISO 125-800] から選べます。
125、200、400、800、1600、3200、6400	ISO感度を選んだ値に固定します。

✓ ISO感度設定についてのご注意

他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。


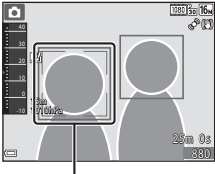
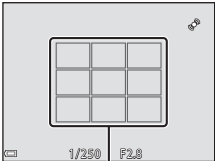

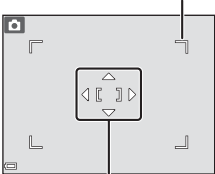
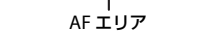
📝 撮影画面のISO感度表示について

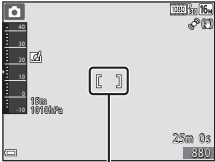
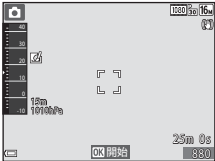
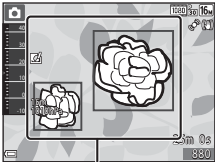
- [オート] 時は、感度が上がったときにISOが表示されます。
- [感度制限オート] 時は、感度の上限値が表示されます。

AFエリア選択

-  (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU ボタン →
 メニューアイコン → AFエリア選択 → OK ボタン

静止画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
<p> 顔認識オート</p>	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。 →「顔認識撮影について」(☞62)</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  </div>
<p> マニュアル</p>	<p>マルチセレクターの▲▼◀▶で、AFエリアを、ピントを合わせたい位置に移動できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチセレクターでフラッシュモードなどを設定したいときは、OK ボタンを押します。AFエリアの移動に戻るには、もう一度OK ボタンを押します。 <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  </div>

項目	内容
<p>【●】 中央</p>	<p>画面中央の被写体にピントが合います。</p>  <p>AF エリア</p>
<p>【⊕】 ターゲット追尾</p>	<p>動く被写体の撮影に使用します。ピントを合わせた被写体を登録すると、AF エリアが被写体を追いかけて移動します。→「ターゲット追尾の使い方」(👁️40)</p>  <p>AF エリア</p>
<p>【🔍】 ターゲットファインドAF (初期設定)</p>	<p>カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。→「ターゲットファインドAFについて」(📖61)</p>  <p>AF エリア</p>

✓ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択] の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

📎 動画のAFエリア選択について

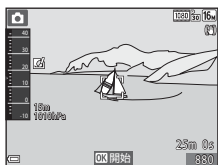
動画撮影時のAFエリア選択は、動画メニューの [AF エリア選択] (👁️58) で設定します。

ターゲット追尾の使い方

- 📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU ボタン →
📷 メニューアイコン → AF エリア 選択 → OK ボタン →
📷 ターゲット追尾 → OK ボタン → MENU ボタン

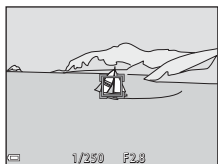
1 被写体を登録する

- ・ 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、OK ボタンを押します。
- ・ 被写体が登録されると、黄色い AF エリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- ・ 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- ・ 登録を解除したいときは、OK ボタンを押します。
- ・ カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示が消えます。登録をやり直してください。



2 シャッターボタンを全押しして撮影する




- ・ AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央の被写体にピントが合います。



✓ ターゲット追尾についてのご注意

- ・ ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- ・ 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。

AFモード（オートフォーカスモード）


- （オート撮影）モードの撮影画面にする → MENUボタン →
メニューアイコン → AFモード → ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。




項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししていないときも、ピントを合わせ続けます。常に動作音がします。
PREAF プリアF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししていないときも、構図が大きく変わったときなどに、自動でピントを合わせます。







動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード] (59) で設定します。

クイックエフェクト

- （オート撮影）モードの撮影画面にする → MENUボタン →
メニューアイコン → クイックエフェクト → ボタン

項目	内容
 する (初期設定)	 （オート撮影）モードで、シャッターをきった直後に  ボタンを押すと、効果を選ぶ画面が表示され、クイックエフェクトが使えます ( 46)。
しない	クイックエフェクト機能（撮影モード時）をOFFにします。



クイックエフェクトについてのご注意

他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

ベストフェイスメニュー

- ・ [画像モード] については、「画像モード (画像サイズ/画質)」(👓30) をご覧ください。

美肌効果

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENUボタン →
😊メニューアイコン → 美肌効果 → Ⓚボタン

項目	内容
↕ 強め	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し (最大3人)、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。
↕ 標準 (初期設定)	
↕ 弱め	
しない	美肌機能をOFFにします。

撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENU ボタン →
☺メニューアイコン → 笑顔自動シャッター → OK ボタン

カメラが人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。

項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> する (初期設定)	笑顔を検出するたびにシャッターをきります。
<input type="checkbox"/> しない	笑顔自動シャッターをOFFにします。

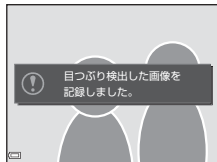
笑顔自動シャッターについてのご注意

他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

目つぶり軽減

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENU ボタン →
☺メニューアイコン → 目つぶり軽減 → OK ボタン

項目	内容
👁️する	<p>撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。</p> <ul style="list-style-type: none">目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。
しない (初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。



目つぶり軽減についてのご注意

他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

再生メニュー

- 画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（👁️13）をご覧ください。
- [お気に入り登録]、[お気に入り解除] については、「お気に入り再生モード」（👁️5）をご覧ください。

プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

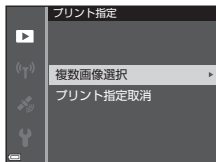
▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → プリント指定 → OK ボタン

プリント指定をあらかじめ設定しておく、以下の方法でプリントするときに利用できます。

- DPOF (Digital Print Order Format) 対応のプリントサービス店にSDカードを持ち込む。
- DPOF 対応のプリンターのカードスロットにSDカードを入れてプリントする。
- PictBridge 対応のプリンターにカメラを接続してプリントする（👁️22）。

1 マルチセレクターの▲▼で [複数画像選択] を選び、OK ボタンを押す

- お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードのときは、右の画面は表示されません。手順2へ進んでください。



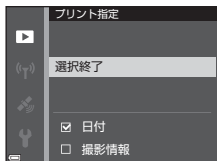
2 プリントする画像（最大 99 コマまで）とプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセクターの ◀▶ で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️とプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T** (🔍) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (🖼️) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したら **OK** ボタンを押します。



3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- 【日付】** を選んで **OK** ボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- 【撮影情報】** を選んで **OK** ボタンを押すと、すべての画像にシャッタースピードと絞り値を印字します。
- 最後に **【選択終了】** を選び、**OK** ボタンを押し、設定を有効にします。



✓ **【プリント指定】の【日付】と【撮影情報】についてのご注意**

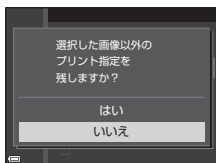
- プリンターによっては、日付や撮影情報を印字できないことがあります。
- カメラをプリンターに接続したときは、撮影情報は印字されません。
- プリント指定を行った後、**【プリント指定】** を再表示すると、**【日付】** と **【撮影情報】** の設定はリセットされます。
- 日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。
- 【デート写し込み】** (📅67) を使って撮影した画像は、**【プリント指定】** で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントされます。



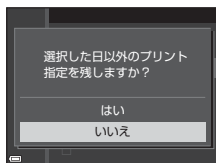
✓ 【プリント指定】 についてのご注意

お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードでプリント指定するときに、選んだ分類または撮影日に含まれていない画像にプリント指定されていると、以下の画面が表示されます。

- [はい]：他の画像のプリント指定は解除せずに、今回の設定を追加します。
- [いいえ]：他の画像のプリント指定をすべて解除し、今回の設定だけを残します。



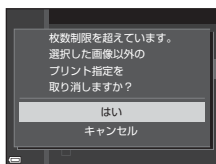
お気に入り再生またはオート分類再生モードのとき



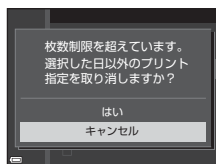
撮影日一覧モードのとき

また、設定の追加で設定コマ数が99コマを超える場合は、以下の画面が表示されます。

- [はい]：他の画像のプリント指定をすべて解除し、今回の設定だけを残します。
- [キャンセル]：他の画像のプリント指定を残し、今回の設定を取り消します。



お気に入り再生またはオート分類再生モードのとき



撮影日一覧モードのとき

📎 プリント指定をすべて取り消すには

「プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）」の手順1 (🔍45) で [プリント指定取消] を選びます。

📎 関連ページ

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意 → 🔍31

スライドショー

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → スライドショー → OK ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目のみを表示します。

1 マルチセレクトターの ▲▼ で [開始] を選び、OK ボタンを押す

- ・ スライドショーが始まります。
- ・ [開始] を選ぶ前に以下を選んでOK ボタンを押すと、設定を変更できます。
 - [効果]：スライドショーの効果を [クラシック]（初期設定）または [ズーム] から選びます。
 - [BGM]：BGMの [あり] / [なし]（初期設定）を選びます。
 - [インターバル設定]：[手動送り] または画像の表示時間を選びます。
 - [エンドレス]：繰り返し再生するとき、OK ボタンを押して にします。
- ・ スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- ・ 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、■ を選びOK ボタンを押します。再開するには、▶ を選びOK ボタンを押します。



再生中の操作

- ・ ◀▶ でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- ・ [BGM] を設定している場合は、ズームレバーの T/W で音量を調節できます。
- ・ 一時停止または途中で終了したいときは、OK ボタンを押します。

プロテクト設定

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → プロテクト設定 →
OK ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面で（**0649**）、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。

内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット）（**0673**）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセレクターの◀▶で画像を選ぶ

- ・ズームレバー（**02**）を **T**（**Q**）側に動かすと1コマ表示に、**W**（**05**）側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・[画像回転]、[連写の代表画像選択]、[オープニング画面] の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ



2 ▲▼でON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ・ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 OK ボタンを押して画像選択を決定する

- ・[選択画像コピー] などでは確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

画像回転

▶ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → 画像回転 → OKボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き(縦横位置)を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと(6-49)、画像回転の画面が表示されます。マルチセクターの◀▶で、90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転

OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

音声メモ

▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → 音声メモ → OK ボタン

撮影した画像に音声メモが付けられます。

音声メモを録音する

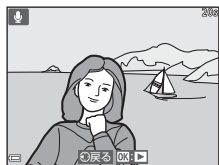
- OK ボタンを押している間、約20秒まで録音できます。
- カメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中はRECと🗣️が点滅します。
- 録音が終了すると、音声メモの再生画面になり、OK ボタンを押すと再生できます。
- 録音し直すときは、音声メモをいったん削除してください (🔍51)。
- 録音済みの画像には、1コマ表示で🗣️が表示されます。



音声メモを再生する

MENU ボタンを押す前に🗣️付きの画像を選んでください。

- 再生するには、OK ボタンを押します。もう一度押すと、再生が止まります。
- 再生中は、ズームレバーで音量を調節できます。

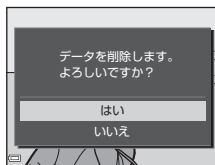


音声メモを削除する

「音声メモを再生する」 (🔍51) の画面で🗑️ボタンを押します。

マルチセレクターの▲▼で「はい」を選び、OK ボタンを押します。

- 「プロテクト設定」済みの画像は、保護を解除すると音声メモを削除できます。

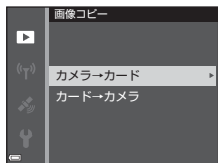


画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → 画像コピー → OK ボタン

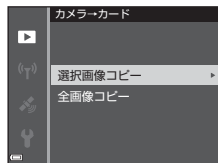
内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

- 1 マルチセレクターの▲▼でコピーする方向を選び、OK ボタンを押す



- 2 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

- ・ [選択画像コピー] を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます (0049)。



✓ 画像コピーについてのご注意

- ・ このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- ・ 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。
- ・ [プリント指定] (0045) の設定内容はコピーされません。
- ・ コピーした画像や動画は、オート分類再生モード (009) では表示できません。
- ・ お気に入り登録 (005) の内容はコピーされません。

連写グループの画像コピーについて


- [選択画像コピー] で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- グループ内画像の表示中にMENUボタンを押したときは、[カード→カメラ] 方向のみコピーできます。[表示グループコピー] を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。




画像が記録されていないSDカードへのコピーについて

再生モードに切り換えると、[撮影画像がありません。] と表示されますが、MENUボタンを押すと [画像コピー] を選べます。

連写グループ表示方法


▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → 連写グループ表示方法 →  ボタン

連写グループ ( 11) の再生時の表示方法を設定します。


項目	内容
 1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。再生画面で  が表示されます。
 代表画像のみ (初期設定)	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

連写の代表画像選択

▶ ボタンを押す (再生モード) → 代表画像を変更したい連写グループを表示する → MENU ボタン → 連写の代表画像選択 →  ボタン

連写グループの代表画像をグループ内の他の画像に変更します。

- 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます ( 49)。

動画メニュー

動画設定



撮影画面にする → MENUボタン → 動画メニューアイコン → 動画設定 → OKボタン

撮影する動画の種類を選びます。

通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画（👁️55）があります。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（👁️31）。

通常速度の動画

項目 (画像サイズ/フレームレート※1、 記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横:縦)
 1080/30p  1080/25p (初期設定)	1920×1080 (高画質)	16:9
 1080/60i  1080/50i	1920×1080	16:9
 720/30p  720/25p	1280×720	16:9
 iFrame 720/30p※2  iFrame 720/25p※2	1280×720	16:9
 480/30p  480/25p	640×480	4:3


※1 設定できる項目とフレームレートは、動画メニューの[フレームレート設定]によって異なります（👁️61）。

※2 iFrameは、Apple Inc.がサポートするフォーマットのひとつです。内蔵メモリで撮影すると、連続撮影可能時間に到達する前に撮影が終了することがあります。

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）」（👓56）

項目	画像サイズ アスペクト比 (横:縦)	内容
 HS 240/8倍	320×240 4:3	1/8の速度のスローモーション動画です。 ・ 最長撮影時間*: 10 秒 (再生時間: 1分 20 秒)
 HS 480/4倍	640×480 4:3	1/4の速度のスローモーション動画です。 ・ 最長撮影時間*: 15 秒 (再生時間: 1分)
 HS 720/2倍	1280×720 16:9	1/2の速度のスローモーション動画です。 ・ 最長撮影時間*: 30 秒 (再生時間: 1分)
 HS 1080/0.5倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 ・ 最長撮影時間*: 2分 (再生時間: 1分)

※撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができます。
表中の最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

HS動画についてのご注意

- ・ 音声は記録されません。
- ・ ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。

スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）

撮影画面にする → MENU ボタン → 動画メニューアイコン → 動画設定 → OK ボタン


HS（ハイスピード）動画で撮影すると、通常再生の1/8、1/4、または1/2の速度のスローモーションや2倍の早送り再生されます。

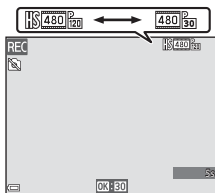
1 マルチセレクターの▲▼でHS動画（55）を選び、OK ボタンを押す

- 設定したらMENU ボタンを押して、撮影画面に戻ります。



2 ●（ 動画撮影）ボタンを押して、撮影を開始する

- 動画メニューの[HS 動画で記録開始]が[する]の場合はHS動画で、[しない]の場合は通常速度で撮影が始まります。
- 撮影中にOK ボタンを押すと、HS動画と通常速度の撮影が切り換わります。
- 動画設定アイコンの表示は、HS 動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。
- HS動画の最長撮影時間（55）が経過すると、自動的に通常速度の動画撮影に切り換わります。



3 ●（ 動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

スローモーション再生と早送り再生について

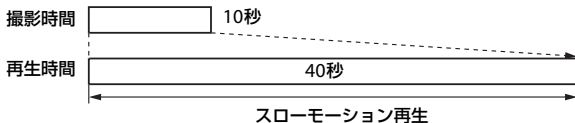
通常速度で撮影した場合：



 [HS 480/4倍] /  [HS 480/4倍] で撮影した場合：

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。

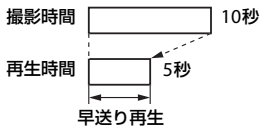
再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。





 [HS 1080/0.5倍] /  [HS 1080/0.5倍] で撮影した場合：

通常速度の1/2のスピードで撮影します。

再生時は、2倍の速さで早送り再生します。





HS動画で記録開始

撮影画面にする → MENU ボタン → メニューアイコン →
HS動画で記録開始 → ボタン


HS動画を撮影するときに、HS動画で開始するか、通常速度で開始するかを設定します。

項目	内容
する (初期設定)	HS動画で撮影を開始します。
しない	通常速度の動画で撮影を開始します。

AFエリア選択




撮影画面にする → MENU ボタン → メニューアイコン →
AFエリア選択 → ボタン

動画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
 顔認識オート (初期設定)	カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。 → 「顔認識撮影について」 (□□62)
[・] 中央	画面中央の被写体にピントが合います。

動画撮影時のAFエリア選択についてのご注意

以下の場合、[顔認識オート] に設定していても、[AFエリア選択] は中央になります。

- [動画手ブレ補正] が [する (ハイブリッド)] で、[動画設定] が  [1080/60i] /  [1080/50i] のとき
- 動画メニューの [AFモード] が [シングルAF] で、● ( 動画撮影) ボタンを押す前に顔認識していないとき
- [動画設定] をHS動画に設定したとき

AFモード



撮影画面にする → MENUボタン → 設定メニューアイコン → AFモード → OKボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	● (動画撮影) ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。



- ・ [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。

動画手ブレ補正

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン →
動画手ブレ補正 →  ボタン

動画撮影時の手ブレ補正を設定します。



三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] に設定してください。

項目	内容
 * する(ハイブリッド) (初期設定)	レンズシフト方式で光学的に補正すると同時に、画像処理で電子的に補正します。画角(写る範囲)は狭くなります。
 する	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正しません。

動画手ブレ補正についてのご注意

撮影状況によっては、手ブレを完全に補正できないことがあります。

動画照明

撮影画面にする → MENU ボタン →  メニューアイコン → 動画照明 →
 ボタン

動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
する	動画撮影中に動画照明が点灯します。
しない(初期設定)	動画照明は点灯しません。

風切り音低減

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン →
風切り音低減 → OK ボタン

動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

項目	内容
ONにする	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
しない(初期設定)	風切り音を低減しません。

- ・ [動画設定] をHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

フレームレート設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン →
フレームレート設定 → OK ボタン



動画撮影時のフレームレートを選びます。

フレームレート設定を切り換えると、[動画設定] (p.54) で選べるフレームレートが変わります。



- ・ [30 fps (30p/60i)] はNTSC方式、[25 fps (25p/50i)] はPAL方式のテレビで再生するのに適しています。

セットアップメニュー

オープニング画面

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → オープニング画面 → ボタン


電源をONにしたときに表示されるオープニング画面の設定をします。

項目	内容
なし (初期設定)	オープニング画面を表示しません。
COOLPIX	COOLPIXのオープニング画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。 <ul style="list-style-type: none">• 画像の選択画面が表示されます。画像を選び ()49)、 ボタンを押して登録します。• 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。• かんたんパノラマで撮影した画像は、登録できません。• スモールピクチャーやトリミングで極端にサイズが小さくなった画像などは登録できません。

地域と日時

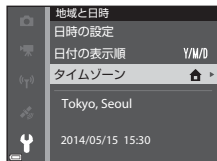
MENU ボタンを押す → ツメニューアイコン → 地域と日時 → OK ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	<ul style="list-style-type: none">項目を選ぶ：マルチセクターの◀▶を押します（[年]、[月]、[日]、[時]、[分] に切り換わります）。日時を合わせる：▲▼を押します。設定を完了する：[分]を選び、OK ボタンを押します。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅（🏠）を設定してから、訪問先（➡）のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

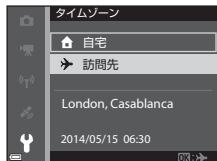
タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセクターの▲▼で [タイムゾーン] を選び、**OK** ボタンを押す

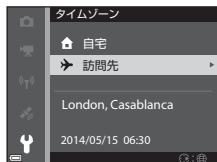


- 2 **HOME** [自宅] または **訪問先** [訪問先] を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ 自宅か訪問先の日時に切り替わります。

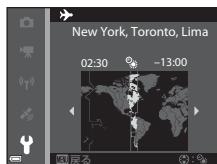


- 3 **訪問先** を押す





- 4 **左向き矢印** / **右向き矢印** でタイムゾーンを選ぶ

- ・ **▲** を押すと夏時間 (サマータイム) になり、**夏時間** が表示されます。解除するには、**▼** を押します。
- ・ **OK** ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- ・ 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、**[日時の設定]** で合わせてください。




モニター設定





MENU ボタンを押す → メニューアイコン → モニター設定 → ボタン

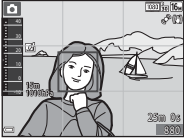



項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定：[する]
画面の明るさ	5段階で調節できます。 • 初期設定：[3]

モニター設定についてのご注意



[クイックエフェクト] (41) が [する] のときは、[撮影後の画像表示] の設定にかかわらず、撮影後に画像を表示します。


[モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると [情報OFF] と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		



	撮影時	再生時
格子線+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は格子線を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>

デート写し込み（日付の写し込み）


MENUボタンを押す → メニューアイコン → デート写し込み → ボタン

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。
日付の印字（46）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。





項目	内容
 年・月・日	日付を写し込みます。
 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。

デート写し込みについてのご注意



- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込みません。
 - シーンモードが [スポーツ]、[夜景ポートレート]（[手持ち撮影] 時）、[夜景]（[手持ち撮影] 時）、[ミュージアム]、[逆光]（[HDR] がON時）、[かたんぱノラマ]、[ペット]（[連写] 時）
 - [連写]（34）の設定が [連写H]、[連写L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[BSS]
 - 動画
 - 動画撮影中に撮影した静止画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

静止画手ブレ補正

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 静止画手ブレ補正 → ボタン

静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] に設定してください。

項目	内容
 * する (ハイブリッド)	レンズシフト方式で光学的に補正します。以下の条件では、画像処理で電子的に補正を加えます。 <ul style="list-style-type: none">・フラッシュ：発光しない・シャッタースピード：1/30 秒（広角側）、1/60 秒（望遠側）よりも低速・セルフタイマー：OFF・[連写] の設定：[単写]・ISO 感度：ISO 200 以下 画像の記録時間は通常より長くなることがあります。
 する (初期設定)	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正をしません。

静止画手ブレ補正についてのご注意

- ・カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、撮影画面の画像が安定してから撮影してください。
- ・撮影直後に撮影画面の画像がずれて見えることがあります。
- ・撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ・シャッタースピードが極端に遅いときは、[する (ハイブリッド)] に設定しても画像処理による補正はできません。

モーション検知

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → モーション検知 → ボタン

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
オート (初期設定)	撮影画面に が表示される撮影モードや設定で作動します。 カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると が緑色に変わり、ISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。 ・ (オート撮影) モードでは、[ISO 感度設定] (37) を [オート] に設定してください。
しない	モーション検知をしません。

モーション検知についてのご注意

- ・ 撮影状況によってはブレを軽減できないことがあります。
- ・ 極端にブレしているときや暗すぎるときは、作動しないことがあります。
- ・ 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。



AF補助光

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → AF補助光 → ボタン

オートフォーカスを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。





項目	内容
AUTO オート (初期設定)	暗い場所などで自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約3.0 m、望遠側で約3.0 mです。 ・ AF エリアの位置やシーンモードの種類によっては点灯しない場合があります。
なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム



MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 電子ズーム → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームが使えないように制限します。

電子ズームについてのご注意

- 以下の場合、電子ズームは使えません。
 - シーンモードが [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] ([HDR] がON時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]、[水中] のとき
 - ベストフェイスモードのとき
 -  (オート撮影) モードで、[連写] (34) を [マルチ連写] に設定したとき
 -  (オート撮影) モードで、[AF エリア選択] (38) を [ターゲット追尾] に設定したとき

操作音

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 操作音 → ボタン

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。 • シーンモードの [ペット] では鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 • 連写時や動画撮影時、シーンモードの [ペット] では鳴りません。

アクション操作の感度

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → アクション操作の感度 → OKボタン

カメラを振って操作（アクション操作）（□4）するときの感度を設定します。[高]では、小さな振りでも操作できます。[低]では、大きな振りで操作します。初期設定は[中]です。

✓ アクション操作の感度についてのご注意

アクション操作の[クイック再生]または再生モードの1コマ表示中の画像選択操作の感度は固定です。

アクション画像送り



MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → アクション画像送り → OKボタン

項目	内容
する (初期設定)	再生モードの1コマ表示中にカメラを振って画像を選べます。
しない	カメラを振っても画像は選べません。

✓ アクション画像送りについてのご注意

[アクション画像送り]が[する]のときは、カメラの向きを回転させても、画像は自動的に回転しません。

アクション地図操作



MENU ボタンを押す → メニューアイコン → アクション地図操作 → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	地図表示中にカメラを振って地図の拡大/縮小ができます (□5)。
しない	カメラを振っても、地図の拡大/縮小はできません。

アクション地図操作についてのご注意

Ⓜ (アクション) ボタンが押されているときは、地図の拡大/縮小はできません。

オートパワーオフ

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → オートパワーオフ → ボタン

カメラが待機状態 (□23) になるまでの時間を設定します。
[30秒]、[1分] (初期設定)、[5分]、[30分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- [ペット自動シャッター] で撮影中：5分 (オートパワーオフを [30秒] または [1分] に設定した場合)
- [笑顔自動シャッター] で撮影中：5分 (オートパワーオフを [30秒] または [1分] に設定した場合)
- メニュー表示中：3分 (オートパワーオフを [30秒] または [1分] に設定した場合)
- ACアダプター接続中：30分

メモリー / カードの初期化（フォーマット）

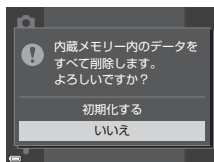
MENU ボタンを押す → Y メニューアイコン → メモリーの初期化 / カードの初期化 → OK ボタン

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。
初期化すると、内蔵メモリー / SDカード内のデータはすべて削除されます。
削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/SDカードカバーを開けたりしないでください。

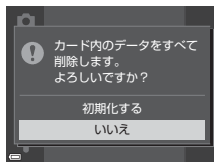
内蔵メモリーを初期化する

SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に「メモリーの初期化」が表示されます。





SDカードを初期化する

SDカードをカメラに入れます。セットアップメニューの項目に「カードの初期化」が表示されます。





言語/Language


MENUボタンを押す → メニューアイコン → 言語/Language → ボタン

画面に表示する言語を設定します。

TV出力設定

MENUボタンを押す → メニューアイコン → TV出力設定 → ボタン

テレビとの接続に必要な設定を行います。



項目	内容
HDMI	HDMI出力時の解像度を選びます。[オート]（初期設定）にすると、接続するテレビに対応した解像度を [480p]、[720p] または [1080i] から自動で選んで出力します。
HDMI 機器制御	[する]（初期設定）にすると、HDMI-CEC対応テレビのリモコンで再生中の操作ができます ( 21)。



HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

パソコン接続充電

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → パソコン接続充電 → ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると (□□92)、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

パソコンで充電するときのご注意

- ・ カメラは、パソコンに接続すると自動で電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源をOFFにすると、充電は中止されます。
- ・ 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約4時間10分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- ・ 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

充電ランプが緑色で速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- ・ 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- ・ USBケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。
- ・ パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- ・ パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

目つぶり検出設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 目つぶり検出設定 → ボタン

以下の撮影モードで顔認識撮影 (62) したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- (らくらくオート撮影) モード
- 以下のシーンモードのとき
 - [ポートレート]
 - [夜景ポートレート] ([三脚撮影] 時) (36)
- (オート撮影) モード (AF エリア選択が [顔認識オート] (38) のとき)

項目	内容
する	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性がある場合は、撮影画面に [目つぶり確認] 画面を表示します。 撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
しない (初期設定)	目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

目つぶり検出した顔は、枠で囲まれます。
以下の操作ができます。

- 顔を拡大表示する：ズームレバーを **T** () 側に動かします。複数の顔を検出したときは、マルチセクターの で顔が切り換わります。
- 1コマ表示に戻る：ズームレバーを **W** () 側に動かします。



ボタンを押すか、操作しない状態が数秒経過すると、撮影画面に戻ります。





目つぶり検出設定についてのご注意

- 連写の設定が [単写] (34) 以外のときは、目つぶり検出をしません。
- 撮影状況などによっては、適切に目つぶり検出ができないことがあります。

Eye-Fi送信機能

MENUボタンを押す → メニューアイコン → Eye-Fi送信機能 → ボタン






項目	内容
 有効 (初期設定)	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
 無効	画像を送信しません

Eye-Fiカードを使用するときのご注意



- 電波の状態が悪い場合、[有効]に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、Eye-Fiカードはカメラから取り出してください。設定を[無効]にしただけでは、電波が発信されることがあります。
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの説明書をご覧ください。Eye-Fiカードに関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をON/OFFする機能がありますが、Eye-Fiカードの全ての機能を保証するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、OFFにしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- Eye-Fiカードの送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- [有効]にしていると、電池の消耗は通常より早くなります。

Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、画面で確認できます (□□9)。

-  : [Eye-Fi送信機能] が [無効] に設定されています。
-  (点灯) : 画像の送信を待っています。
-  (点滅) : 画像の送信中です。
-  : 未送信の画像がありません。
-  : エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

設定クリアー

MENUボタンを押す → メニューアイコン → 設定クリアー → ボタン



【はい】を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- 【地域と日時】、【言語/Language】など、一部の設定はリセットされません。

 ファイル番号の連番をリセットする

内蔵メモリー/SDカード内の画像をすべて削除 (□31) してから【設定クリアー】を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。



バージョン情報


MENUボタンを押す → メニューアイコン → バージョン情報 → ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

位置情報設定メニュー

位置情報設定

MENUボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン → 位置情報設定 →  ボタン

項目	内容
位置情報記録機能	[する] にすると、測位衛星から電波を受信し、測位が始まります (□78)。 • 初期設定：[しない]
A-GPSファイル更新	SDカードを使ってA-GPS (アシストGPS) ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を取得するまでの時間を短くできます。 • A-GPS ファイルの更新方法 →  79
位置情報消去	画像に記録された位置情報やPOI情報を消去します。 • 削除した位置情報や POI 情報は元に戻せません。 • このカメラ以外で撮影した画像の位置情報は、消去できません。

A-GPSファイルの更新方法

下記のホームページから最新のA-GPSファイルをダウンロードして、更新してください。

<http://nikonimglib.com/agps3/>

- COOLPIX AW120用のA-GPSファイルは、上記ホームページ以外では、入手できません。
- A-GPSファイルを更新するときは、[位置情報記録機能] を [しない] にしてください。[する] に設定されていると、更新できません。

1 ホームページから最新の A-GPS ファイルをパソコンにダウンロードする

2 ダウンロードしたファイルをカードリーダーなどを使って、SDカードの「NCFL」フォルダーにコピーする

- 「NCFL」フォルダーはSDカードの直下にあります。SDカード内に「NCFL」フォルダーがない場合は、フォルダーを新規作成してください。

-
- 3 ファイルをコピーしたSDカードをカメラに入れる

 - 4 カメラの電源を入れる



 - 5 MENUボタンを押して位置情報設定メニューを表示し、マルチセクターで「位置情報設定」を選ぶ

 - 6 「A-GPSファイル更新」を選び、ファイルを更新する
 - ・ファイルの更新終了まで、約2分かかります。

✓ A-GPSファイル更新についてのご注意

- ・ A-GPS ファイルは、ご購入後はじめての測位では無効です。2回目の測位から有効になります。
- ・ A-GPS ファイルの有効期限は、更新画面で確認できます。有効期限が切れている場合は、有効期限がグレーで表示されます。
- ・ A-GPS ファイルの有効期限が切れている場合は、位置情報の取得は早くなりません。A-GPS ファイルは位置情報機能を使う前に更新することをおすすめします。

距離単位

MENUボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
距離単位 →  ボタン

地図表示の距離単位を「**km(m)**」(キロメートル、メートル) (初期設定) または「**mi(yd)**」(マイル、ヤード) から選べます。

距離計算

▶ ボタンを押す (再生モード) → 地図を表示する (☰82) → MENU ボタン → 位置情報設定)メニューアイコン → 距離計算 → OK ボタン

現在地から画像の撮影場所、または画像と画像の撮影場所間の直線距離を計算します。

1 マルチセクターの▲▼で距離計算する対象を選び、OK ボタンを押す

- ・ [現在地⇔画像] : 現在地と画像の撮影場所の距離を計算します。現在地の確認が始まります。手順3に進みます。
- ・ [画像⇔画像] : 画像と画像の撮影場所間の距離を計算します。



2 ◀▶で起点となる画像を選び、OK ボタンを押す

- ・ 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー (W (☒) / T (Q)) を操作します。



3 ◀▶で終点となる画像を選ぶ

- ・ 画像を選ぶごとに、画面に距離が表示されます。
- ・ OK ボタンを押すと、距離計算を終了します。





距離

詳細編







▼ 距離計算についてのご注意

- ・ 画像に位置情報が記録されていない場合は、距離計算はできません。
- ・ [現在地⇔画像] で距離計算をするには、現在地が測位できている必要があります (☰78)。

POI設定（地名情報を記録、表示する）

MENU ボタンを押す → （位置情報設定）メニューアイコン → POI設定 →  ボタン



POI（Point of interest、地名情報）に関する設定をします。

項目	内容
POI記録	撮影する画像に地名情報を記録するか設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 初期設定：[しない]• 地名情報は、静止画にも、動画にも記録できます。
POI表示設定	撮影画面や再生画面に地名情報を表示するか設定します（  8、  10）。 <ul style="list-style-type: none">• 再生画面では、[POI 記録] を [する] にして撮影した画像に、撮影時の地名情報を表示します。• 初期設定：[しない]
POI表示レベル設定	地名情報の表示レベルを設定します。高レベルを選ぶほど、地域情報が詳細になります。 <ul style="list-style-type: none">• レベル1：国名を表示します。• レベル2～5：表示内容は、国によって異なります。• レベル6：ランドマーク名（施設名）を表示します。
POI情報編集	再生モード時に [POI変更] を選ぶと、画像に記録された地名情報を変更できます。MENU ボタンを押す前に、編集したい画像を選んでください。 <ul style="list-style-type: none">• レベル6を選んでいるときに、マルチセクターの   を押すと、ランドマーク名を変更できます。• マルチセクターの   を押すと、POI 情報のレベルを変更できます。 [POI削除] を選ぶと、画像に記録されている地名情報を削除します。

POI表示について

設定した表示レベルに地名情報がない場合は、地名情報が表示されない、または「---」と表示される場合があります。

ログ取得（移動情報のログを記録する）

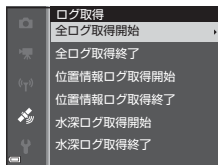
MENU ボタンを押す → （位置情報設定）メニューアイコン → ログ取得 →  ボタン

ログ取得を開始すると、設定した時間が経過するまで、[ログ取得間隔] で設定した間隔で測位した移動情報を記録します。

- ログデータは、取得しただけでは使えません。ログ取得を終了して、SD カードに保存します。

1 マルチセレクターの▲▼で取得開始するログを選び、 ボタンを押す

- 取得するログは以下から選べます。
 - [全ログ取得開始]：位置情報、高度情報、水深情報のログを取得します。
 - [位置情報ログ取得開始]：位置情報のログを取得します。
 - [水深ログ取得開始]：水深情報のログを取得します。




2 ログ取得する間隔を選び、 を押す

- 取得するログによって、設定できるログ取得間隔は異なります。

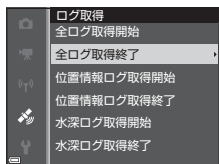


3 ログ取得する時間を選び、**OK**ボタンを押す

- ログの取得が始まります。
- ログデータは、設定した時間が過ぎるまで【ログ取得間隔】で設定した時間毎に記録されます。
- 【水深ログ取得開始】の場合、ログ取得する時間は選べません。1時間に固定されます。
- ログ取得中は、画面にが表示されます (88)。

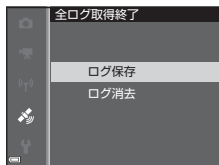


4 ログの取得が終わったら、位置情報設定メニューの【ログ取得】から手順1で選んだログのログ取得終了を選び、**OK**ボタンを押す



5 【ログ保存】を選び、**OK**ボタンを押す


- SDカードにログデータを保存します。





ログ取得についてのご注意


- 日時が設定されていない場合は、ログ取得はできません。
- ログ取得時間内に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電池残量がなくなると、ログ取得が終了します。高度ログ、または水深ログ取得中は、電池を特に早く消耗しますので、電池の残量にご注意ください。
- ログ取得時間内でも、以下の操作をすると、ログ取得が終了します。
 - 電池を取り外す
 - 位置情報ログ記録時、**[位置情報設定]** → **[位置情報記録機能]** を **[しない]** にする
 - セットアップメニューの **[設定クリア]** をする
 - 内蔵時計の設定（地域や日時）を変更する
 - 位置情報設定メニューで **[ログ取得]** → ログ取得終了を選ぶ (83)
- 以下の操作中は、ログ取得が一時中断されます。
 - 連写撮影中
 - 動画撮影中
 - USBケーブルまたはHDMIケーブル接続中
- カメラの電源をOFFにしても、ログ取得時間が残っている場合は、設定した時間が過ぎるまでログ取得します。
- ログデータは一時的にカメラに記録されます。カメラにログデータが残っていると、新しくログ取得ができません。ログ取得後は、SDカードにログデータを保存してください。
- SDカードに保存したログデータについて → 86

ログデータを消去するには

- カメラに一時的に記録されたログデータを消去するには、手順5で **[ログ消去]** を選びます。
- SDカードに保存されたログデータを削除するには、**[ログデータ表示]** (86) で  ボタンを押します。

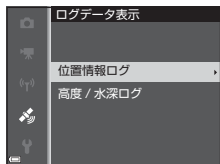
ログデータ表示

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン → ログデータ表示 →  ボタン



[ログ取得] (83) でSDカードに保存したログデータを確認または削除します。

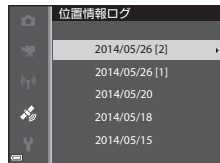
1 マルチセクターの▲▼で表示したいログを選び、 ボタンを押す

- ・ [位置情報ログ] : 位置情報のログを表示します。
- ・ [高度 / 水深ログ] : 高度情報または水深情報のログを表示します。









2 表示したいログデータを選び、 ボタンを押す

- ・ 高度ログデータには▲が、水深ログデータには▼が表示されます。
- ・ SDカードに保存したログデータについて → 100
- ・ ログデータを削除するには → 97



3 移動した軌跡を確認する

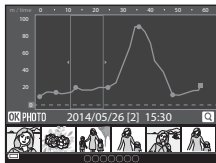
[位置情報ログ] の場合

- ・ 地図上に軌跡が表示されます。
- ・ 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー (W  / T ) を操作します。
- ・ 地図表示を移動するには、マルチセクターを使います。
- ・  ボタンを押すと、表示しているログデータを消去できます。
- ・  ボタンを押すと、以下の操作ができます。
 - [位置情報ログ] : 手順2の画面に戻ります。
 - [地点登録する] : 地図上で場所を選び、 ボタンを押すと、地点として登録できます。
 - [登録地点に移動する] : 地点登録した場所を選んで、地図を移動します (85)。



【高度/水深ログ】の場合

- 高度情報または水深情報のグラフが表示されます。
- ズームレバーを **T** (Q) 側に動かすと、グラフを拡大表示できます。**W** (☒) 側に動かすと、グラフ全体を表示します。
- グラフ表示を移動するには、マルチセレクトターの ◀ ▶ を押します。
- **OK** ボタンを押すと、他の画像を選べます。
 - マルチセレクトターの ◀ ▶ を押して、画像を選びます。
 - ズームレバーを **T** (Q) 側に動かすと、画像を拡大表示できます。**W** (☒) 側に動かすと、グラフ表示に戻ります。
- **ESC** ボタンを押すと、表示しているログデータを消去できます。
- **MENU** ボタンを押すと、手順2の画面に戻ります。



ログデータを削除するには



手順2で **ESC** ボタンを押し、以下のどちらかを選びます。

- **[選択したログデータ]**：選んでいるログデータを削除します。
- **[すべてのログデータ]**：SDカードに記録されているログデータをすべて削除します。

位置情報ログデータについて


NMEAフォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。

衛星による日時合わせ



MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
衛星による日時合わせ →  ボタン



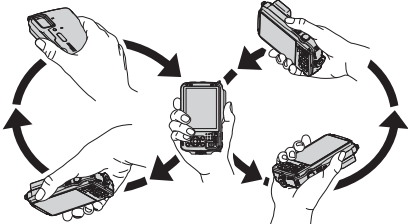
測位衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します。測位状態を確認してから、日時合わせをしてください。

衛星による日時合わせについてのご注意

- 設定するには、測位できている必要があります (☞78)。
- [衛星による日時合わせ] は、セットアップメニューの [地域と日時] (☞76、63) で設定したタイムゾーンに合わせて日時を設定します。[衛星による日時合わせ] をする前にタイムゾーンの設定をご確認ください。
- [衛星による日時合わせ] で設定した日時は、電波時計ほどには正確ではありません。[衛星による日時合わせ] で時刻が合わないときは、セットアップメニューの [地域と日時] で設定してください。

電子コンパス設定



MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
電子コンパス設定 →  ボタン




項目	内容
コンパス表示	<p>撮影画面にコンパス (方位計) を表示するか設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 初期設定: [しない]• 計測した方位情報をもとに、カメラを向けた方位を表示します。• コンパス表示は、カメラのレンズを下に向けると円型 (方位磁石) の表示に切り換わり、赤い指針が北を指します。<ul style="list-style-type: none">- 表示方法: 北、東、南、西- 表示範囲: 16方位• 再生メニューの [情報合成画像] で画像に電子コンパスの表示を写し込みできます (18)。
コンパス補正	<p>コンパスの方位が正しく表示されないときに、コンパスの補正をします。</p> <p>右の画面が表示しているときに、カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。</p> <div data-bbox="632 691 914 901"></div> 

電子コンパスについてのご注意

- カメラのレンズが上を向いているときは、電子コンパスは表示されません。
- このカメラの電子コンパスを登山などの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 以下のような物の近くでは、方位を正確に計測できないことがあります。
磁石、金属、電動機、家庭電化製品、送電線など
- 以下のような場所では、方位を正確に計測できないことがあります。
自動車、電車、船舶、航空機、建物や地下街などの中
- 位置情報を取得できないと、方位を正確に計測できないことがあります。

高度/水深設定



MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
高度/水深設定 →  ボタン

項目	内容
高度計/水深計表示	撮影画面に高度計または水深計を表示するか設定します。 ・ 初期設定：[する]
高度/水深補正	高度または水深の補正を行います。 [位置情報で補正]：位置情報記録機能を使って高度を補正します。 ・ 高度が表示された確認画面で [はい] を選び  ボタンを押すと、表示されている値で高度が補正されます。 ・ 水中では、補正できません。 [手動補正]：高度または水深を入力して補正します。 ・ マルチセレクターの ▲▼ で数値を変更、◀▶ で入力する桁数を変更します。 ・ 一番右の数値にカーソルがあるときに  ボタンを押すと、数値を決定します。 [補正解除]：[位置情報で補正] または [手動補正] で設定した補正を解除します。 ・ 補正解除画面で [はい] を選び  ボタンを押すと、補正が解除されます。
高度/水深単位	高度/水深表示の距離単位を「m (メートル)」(初期設定) または「ft (フィート)」に設定します。



高度/水深設定についてのご注意

[高度/水深補正] の [位置情報で補正] で補正するには、位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] が [する] で、4つ以上の衛星から受信して測位できている必要があります (□80)。

Wi-Fi設定メニュー

MENUボタンを押す → メニューアイコン → ボタン

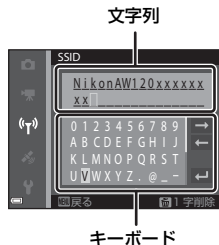
カメラとスマートデバイスを接続するためのWi-Fi（無線LAN）ネットワーク情報を設定します。

項目	内容
スマートデバイスと接続	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。 → 「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（  89）
Wi-Fi OFF	カメラとスマートデバイスの無線接続を終了するときに選びます。 → 「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（  89）
設定	SSID： SSIDを任意に変更できます。ここで設定したSSIDが、スマートデバイスに表示されます。英数字の1～24桁で設定します。
	認証/暗号： スマートデバイスと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN]（初期設定）のときは、暗号化しません。
	パスワード： パスワードを設定します。英数字の8～16桁で設定します。
	チャンネル： 無線接続で使用するチャンネルを設定します。
	サブネットマスク： 通常は初期設定（[255.255.255.0]）のままお使いください。
	DHCPサーバー IPアドレス： 通常は初期設定（[192.168.0.10]）のままお使いください。
現在の設定	現在の設定を一覧表示します。
設定の初期化	Wi-Fiの設定を初期設定に戻します。

文字入力画面の操作方法

[SSID]、[パスワード] の文字入力

- マルチセクターの▲▼◀▶でキーボードの英数字を選択します。OKボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの◀または▶を選んでOKボタンを押します。
- 1文字削除するには、🗑️ボタンを押します。
- 設定を確定するには、キーボードの↵を選んでOKボタンを押します。



[チャンネル]、[サブネットマスク]、[DHCPサーバー IPアドレス] の文字入力

- マルチセクターの▲▼で数値を設定します。▶またはOKボタンを押すと、次の桁に移動します。◀を押すと、前の桁に戻ります。
- 設定を確定するには、一番最後の桁を選んでOKボタンを押します。



警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処	📖
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	—
カメラが高温です。 電源をOFFにします。		
カードがロックされています。	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	—
このカードは使えません。	SDカードへのアクセス異常です。 ・動作確認済みのカードを使ってください。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・カードが正しく挿入されているか確認してください。	16、🔍31
カードに異常があります。		
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、[いいえ]を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。[はい]を選んで🔍ボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	🔍6
Eye-Fiカードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fiカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	—
	Eye-Fiカードへのアクセス異常です。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・カードが正しく挿入されているか確認してください。	16
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、SDカードを交換してください。	16、31、75

表示	考えられる原因や対処	📖
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	🔗73
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	🔗73
	オープニング画面に登録できない画像です。	🔗62
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	31
これ以上、お気に入り登録できません。	すでに200コマの画像がお気に入りフォルダーに登録されています。 ・ 画像のお気に入り登録を解除してください。 ・ 別のお気に入りフォルダーに登録してください。	🔗7 🔗5
音声を登録できません。	音声メモを付けられない画像です。 ・ 動画には音声メモを付けられません。 ・ このカメラで撮影した画像を選んでください。	—
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	🔗13、🔗15
動画記録できません。	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	70、🔗31
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 ・ 内蔵メモリー内の画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。 ・ 内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーするときは、MENUボタンを押して再生メニューの「画像コピー」を選んでください。	17 🔗52
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。	🔗5、🔗6
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。	🔗9

表示	考えられる原因や対処	📖
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。	—
このデータは再生できません。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	
表示できる画像がありません。	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	🔗48
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。プロテクトを解除してください。	🔗49
衛星からの情報取得に失敗しました。	時計合わせが正しく行われませんでした。お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	—
カード内にA-GPSファイルが見つかりません。	SDカードに更新可能なA-GPSファイルがありません。 以下のことを確認してください。 ・SDカードが入っているか ・SDカード内にA-GPSファイルが入っているか ・SDカード内のA-GPSファイルがカメラ内のA-GPSファイルより新しいか ・有効期限が切れていないか	—
更新に失敗しました。	A-GPSファイルの更新ができませんでした。 A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。	87、🔗79
現在地が確認できません。	距離計算時に現在地の測位ができませんでした。 お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	—
カードに保存できません。	SDカードが挿入されていません。 SDカードを挿入してください。	16
	1日に記録できるログデータの件数を超過しています。 ・位置情報ログ：1日に36件まで ・高度ログ、水深ログ：それぞれ1日に34件まで	—
	1枚のSDカードに保存できるログデータの件数を超過しています。 ・位置情報ログ：最大で100件まで ・高度ログ、水深ログ：合わせて最大で100件まで 新しいSDカードに交換するか、不要なログデータをSDカードから削除してください。	🔗86

表示	考えられる原因や対処	📖
電子コンパスの補正に失敗しました。	電子コンパスの補正が正しくできませんでした。 屋外で、カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。	👁️89
アクセスありませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信できません。Wi-Fi設定メニュー【スマートデバイスと接続】を選び、無線接続の操作をやり直してください。	90、👁️92
接続できませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信中、接続に失敗しました。Wi-Fi 設定メニュー【設定】で【チャンネル】を別の番号に変更し、無線接続の操作をやり直してください。	90、👁️92
Wi-Fiの接続を切断しました。	カメラとスマートデバイスを無線接続中に、カメラにケーブルが接続されたか、電池残量が少なくなったか、または電波の状態が悪くなり無線接続が解除されました。カメラの状態を確認して、無線接続の操作をやり直してください。	90、👁️92
レンズエラー	レンズの作動不良です。 電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	22
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	👁️23
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	12、22

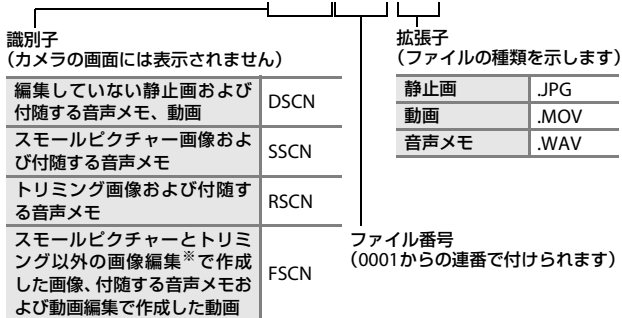
表示	考えられる原因や対処	📖
プリンターエラー： プリンターを確認してください。	エラーの原因を取り除いた後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル]を選びⓀボタンを押して、プリントを中止してください。	—


※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG



※  (オート撮影) モードのクイックエフェクト (📷46) を含む

- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。

SDカードに保存したログデータについて

ログデータはSDカードの「NCFL」フォルダーに保存されます。

ファイル名: **N140515 0 .log**

① ② ③

① 日付	ログ取得開始した日付（西暦の下二桁と月日：YYMMDD）が付けられます。	
② 識別番号	同じ日付のログデータを取得順で管理するために、0から順に付けられます。 ・ 位置情報ログ：0～9、A～Zの合計 36文字 ・ 高度/水深ログ：0～9、A～H、J～N、P～Zの合計 34文字	
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。	
	.log	位置情報ログ
	.lga	高度ログ
	.lgb	水深ログ

- ・ 位置情報ログ：1日に36ファイル、1枚のSDカードに100ファイルまで記録できます。
- ・ 高度ログ/水深ログ：1日に各34ファイル、1枚のSDカードに計100ファイルまで記録できます。

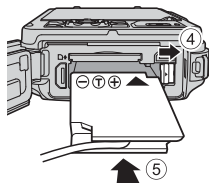
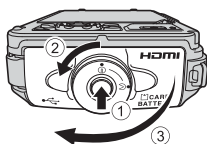
別売アクセサリ

充電器

バッテリーチャージャー MH-65P※¹
(残量の少ない状態からの充電時間：約2時間30分)

ACアダプター

ACアダプター EH-62F※²
<EH-62Fの取り付け方>



ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてから電池室に入れてください。

- ACアダプターの使用中は電池/SDカードカバーを閉められないため、ACアダプターのコードを引っ張らないようにご注意ください。
コードが引っ張られると電源の接続状態が不良になり、電源がOFFしてしまいます。

- ※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。
- ※2 日本国内専用電源コード (AC 100V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ (ニコンダイレクト) <http://shop.nikon-image.com/> でもお買い求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。
アクセサリの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



付録、索引

取り扱い上のご注意	☀:2
カメラについて	☀:2
電池について	☀:4
本体充電 AC アダプターについて	☀:5
メモリーカードについて	☀:6
お手入れ方法	☀:7
クリーニングについて	☀:7
保管について	☀:8
故障かな?と思ったら	☀:9
地図・地名情報データ使用許諾契約書	☀:20
主な仕様	☀:26
推奨 SD カード	☀:31
索引	☀:34
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	☀:38
アフターサービスについて	☀:39

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□□vii~x)や「<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(□□xiv~□□xix)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶついたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 内部を水で濡らさないでください

このカメラは、JIS/IEC保護等級 8 (IPX8) 相当の防水機能を備えていますが、カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

海辺や水中で使った後は、電池/SDカードカバーをしっかりと閉じていることを確認し、浅い容器に溜めた真水の中で10分以内で浸け置きしてください。

水中でのご使用後は、60分以上放置しないでください。防水性能の劣化の原因になります。

● 浸水の防止について

カメラの内部が水に濡れると、故障の原因となり、修理不能となります。浸水（水没）事故を防ぐために、以下の注意を守ってご使用ください。

- 電池/SDカードカバーを密閉するときは、防水パッキンと防水パッキンに接する部分に、ストラップや髪の毛、繊維、ほこりや砂粒などの異物や汚れが付着していないかお確かめください。また、防水パッキンが外れたりしていないかもお確かめください。
- 電池/SDカードカバーの開閉は、水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でしないでください。
- カメラに外部から力を加えると、変形して気密性を失い、浸水の原因となります。重いものを載せたり、落としたり、強く押ししたりしないでください。
- 万一、カメラ内部へ浸水した場合は、ただちに使用を中止し、カメラの水分を拭き取り、大至急二コンサービス機関にお持ちください。

● 衝撃・振動について

落としたり、岩など硬いものにぶついたり、水面に投げたりしないでください。また、振動のある場所に置かないでください。衝撃を加えると、故障や破損の原因になります。

● 最大深度などについて

このカメラは水深18 m以内での水圧に、約60分間耐えうる設計です。18 mを超える水深では、カメラ内部の浸水などが起こり、故障の原因となるおそれがあります。

● 寒冷地での使用について

- このカメラは、 -10°C での動作確認をしています。寒冷地で、雪や水滴が付着したまま放置すると、ズームレバーや電源スイッチなどのすき間に入った雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなる場合がありますので、ご注意ください。
- $-10^{\circ}\text{C}\sim 0^{\circ}\text{C}$ では、一時的に電池の性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が低下します。
- 寒冷地などで本機が冷えきっていると、電源を ON にした直後はモニターが通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、一時的に性能が低下する場合があります。
- 寒冷地や標高の高い山では、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

● 急激な温度変化を与えないでください

- 温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。
- 水中に入れる前に、砂浜や直射日光があたる場所など温度の高い場所に放置しないでください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● モニター画面（電子ビューファインダー含む）について

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELモニターの特性上、同じ表示を長時間続けたり、くり返したりすると焼き付きが発生し、部分的に明るさが落ちたり、色ムラが現れたりすることがあります。また、長期間使い続けると焼き付きが戻らなくなることがあります。モニターの焼き付きは、記録される画像には影響はありません。焼き付きを抑えるには、モニターの明るさを必要以上に上げたままにしたり、同じ表示を極端に長く続けたりしないようおすすめます。
- 屋外ではモニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□□x~xi)をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が-10℃～+40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあなたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けただまにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池をじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



Li-ion 00

充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□xii～xiii)をお守りください。

- 本体充電ACアダプターEH-71Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-71P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-71Pは、家庭用電源のAC 100～240V、50/60Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- ・メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨カード → 31
- ・お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ・ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- ・SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- ・他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- ・SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、**[いいえ]**を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、**[はい]**を選んで**OK**ボタンを押してください。
- ・初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - 電池/SDカードカバーを開けて、カードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

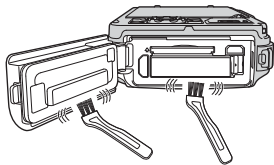
モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 電池 /SD カードカバー内側の防水パッキンや電池室内部に異物が付着しているときは付属のブラシで取り除いてください。
- 水中や海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
- 日焼け止めが付着した手でカメラを使うと、カメラ外装の劣化の原因になることがあります。

ご注意ください：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。



カメラのお手入れについて

「防水/防じん性能について」(xiv)、「水中で使用後のクリーニング」(xvii)もお読みください

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「保管について」(P.5)をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連








こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源 ON の状態で、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。AC アダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータは電池や AC アダプターの取り外しでは失われません。 	<p>—</p> <p>22、🔌101</p> <p>—</p> <p>—</p>
カメラ内の電池を充電できない	<ul style="list-style-type: none"> プラグの接続状態を確認してください。 パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - セットアップメニュー [パソコン接続充電] が [しない] になっています。 - カメラの電源を OFF にすると、電池の充電は中止されます。 - カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダプターで充電してください。 - パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されることがあります。 - パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	<p>14</p> <p>77、🔌75</p> <p>—</p> <p>18、20</p> <p>—</p> <p>—</p>

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源をONにできない	電池残量がありません。	22
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> • オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 • カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 • パソコンまたはプリンターとの接続中にUSBケーブルが外れると電源がOFFになります。USBケーブルの接続をやり直してください。 	23 🔦4 — 92、95、 📷23
モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源が入っていません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタン、または ● (📹 動画撮影) ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがHDMIケーブルで接続されています。 • カメラとスマートデバイスをWi-Fi接続して、カメラをリモート操作中です。 	22 23 48 92、95 92、📷21 89
モニター画面がよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> • モニター画面の明るさを調整してください。 • モニター画面が汚れています。 	76、📷65 🔦7
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2014/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	18、76、 📷63

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	76、🔊65
[デート写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	18、76、🔊63
[デート写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 日付を写し込めない撮影モードになっています。 動画には写し込みできません。 	76、🔊67
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	18、20
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—
カメラから音がする	[AFモード] の設定や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	56、73
メニューが選べない	<ul style="list-style-type: none"> 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。 Wi-Fi 接続中は、選べないメニューがあります。Wi-Fi 接続を解除してください。 	58 91

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	92、95、🔊21、🔊23

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、 ボタン、シャッターボタン、または  (動画撮影) ボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 電池残量がありません。 フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 カメラとスマートデバイスを Wi-Fi 接続して、カメラをリモート操作中です。 	30 6 22 48 89
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、 (らくらくオート撮影) モード、またはシーンモードの [クローズアップ] での撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 電源を入れ直してください。 	33、37、51 63 76、  69 22
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 ISO 感度を上げて撮影してください。 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 BSS (ベストショットセクター) を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	48 56 76 38、56、  34 50
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを  (発光禁止) にしてください。	49
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが  (発光禁止) になっています。 フラッシュが発光しない撮影モードになっています。 ベストフェイスメニューで [目つぶり軽減] が [する] になっています。 ベストフェイスメニューで [笑顔自動シャッター] が [する] になっています。 フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	48 53 57 57 58

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・ セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 ・ 以下の場合、電子ズームは使えません。 <ul style="list-style-type: none"> - シーンモードが [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] ([HDR] が ON 時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]、[水中] のとき - ベストフェイスモードのとき - 撮影メニュー [連写] が [マルチ連写] のとき - 撮影メニュー [AF エリア選択] が [ターゲット追尾] のとき ・ 電子ズームが制限される他の機能が設定されています。 	76、📷70 35 44 56、📷34 56、📷38 58
[画像モード] が選べない	[画像モード] が制限される他の機能が設定されています。	58
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。[あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	76、📷70
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー [AF 補助光] が [なし] になっています。[オート] に設定していても、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	76、📷69
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔍7
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	37、56、📷32
画像がざらつく	<p>被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュを使ってください。 ・ 低い ISO 感度にしてください。 	48 56、📷37

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュモードが🔇 (発光禁止) になっています。 ・フラッシュが指などでさえぎられています。 ・被写体にフラッシュの光が届いていません。 ・露出を補正してください。 ・ISO感度を上げてください。 ・逆光で撮影しています。シーンモードの[逆光]のHDRをOFFにするか、フラッシュモードを🔇 (強制発光) にしてください。 	48 26 48 52 56、📷37 38、48
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	52
赤目以外の部分が補正された	🔇 (赤目軽減自動発光) でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[夜景ポートレート]以外の撮影モードで、フラッシュモードを🔇 (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	36、48
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 ・4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー[メイクアップ効果]の[美肌]をお試しください。 	44 67、📷17
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき ・フラッシュを🔇 (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき ・以下のシーンモードで撮影したとき <ul style="list-style-type: none"> - [夜景ポートレート] の [手持ち撮影] - [夜景] の [手持ち撮影] - [逆光] の HDR が ON - [かんたんパノラマ] ・美肌機能で撮影したとき ・連写で撮影したとき 	— 49 36 37 38 39 57 56、📷34
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様(ゴースト)等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は拡大表示できません。 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 	—
音声メモを録音できない	<ul style="list-style-type: none"> 動画には音声メモを付けられません。 このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。 	67、👁️51
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 内蔵メモリー /SD カードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	39、👁️13 — 67、👁️13 —
画像を回転できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。 【情報合成画像】で編集した画像は、回転できません。。 	— 67、👁️18
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [TV 出力設定] の [HDMI] が正しく設定されていません。 パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。 	77、👁️74 92、95、👁️23 17

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラをパソコンに接続しても、 Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。 	22 22 92、95 — 97
カメラをプリンターに接続しても、 PictBridge 起動画面が表示されない	<p>PictBridge 対応プリンターの種類によっては、[パソコン接続充電] を [オート] に設定していると、PictBridge 起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。[パソコン接続充電] を [しない] にしてプリンターに接続し直してください。</p>	77、🔗75
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。 	16 17
カメラ側で用紙設定ができない	<p>PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	92、🔗25、🔗26 —

位置情報機能関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
測位できない、測位に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 撮影する環境によって、測位できないことがあります。位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。 はじめて測位したときや、測位できない状態が約 2 時間経過したときは、位置情報を取得するまで数分かかります。 	79
撮影した画像に位置情報が記録されない	撮影時の画面に📷や📷が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前に位置情報受信状態を確認してください。	80
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。	79
記録された地名情報が意図したものと違う、または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていないか、または、ランドマーク名が異なる場合があります。	—
A-GPSファイルが更新できない	<ul style="list-style-type: none"> 以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - SD カードが入っているか - SD カード内に A-GPS ファイルが入っているか - SD カード内の A-GPS ファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか - 有効期限が切れていないか A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。 	87、📷79
地図が表示できない	本体充電ACアダプターを接続して充電中は、📷（地図）ボタンを押しても地図は表示できません。	—
高度計/水深計を非表示にできない	位置情報設定メニュー [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] が [する] 時は、セットアップメニュー [モニター表示設定] の設定に関わらず、高度計/水深計が表示されません。高度計/水深計を非表示にするには、[高度計/水深計表示] を [しない] にしてください。	88、📷91

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影画面で、高度表示/水深表示と気圧表示が表示されたままになっている	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] を [情報OFF] に設定してください。	76、🔗65
[高度計 / 水深計表示] が [する] 時でも、高度計/水深計が表示されない	[高度計/水深計表示] が [する] 時でも、以下の場合は高度計/水深計は表示されません。 <ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを半押ししているとき シーンモード [かんたんパノラマ] で撮影中 動画撮影中 [AF エリア選択] の [ターゲット追尾] で被写体が登録されているとき メッセージが表示されているとき 	39 69 55、🔗38 —
水深が0 mと表示される	シーンモードが [水中] 時に、カメラが水中にないときは水深は0 mと表示されます。	41
位置情報設定メニュー [高度/水深補正] の [位置情報で補正] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> 位置情報設定メニューの [位置情報記録機能] が [しない] になっています。 4 つ以上の衛星から受信して測位できていないと、選べません。 カメラが水中にあります。水中では選べません。 	78 80 —
位置情報設定メニューの [ログ取得] が選べない	カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください。	76、🔗63
[全ログ取得開始] や [位置情報ログ取得開始] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> 位置情報設定メニューの [位置情報記録機能] が [しない] になっています。 ログ取得中です。新しくログを取得するときは、[全ログ取得終了] または [位置情報ログ取得終了] を選び、取得中のログを終了してください。 	78 88、🔗83
ログデータを保存できない	<ul style="list-style-type: none"> SD カードが入っているか確認してください。 記録できるログデータの数は、位置情報ログが 1 日に 36 件まで、高度ログ、水深ログがそれぞれ 1 日に 34 件までです。 1 枚の SD カードに保存できるログデータは、位置情報ログが最大 100 件まで、高度/水深ログが合わせて最大 100 件までの、合計 200 件までです。不要なログデータを SD カードから削除するか、新しい SD カードに交換してください。 	— — 🔗85、 🔗86
水深ログをグラフ表示できない	[水深ログ取得開始] を設定しても、一度も水中に入らなかったときは、ログファイルは生成されませんがグラフ表示はできません。	🔗86

Wi-Fi関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
スマートデバイスにカメラのSSID（ネットワーク名）が表示されない	カメラのWi-Fi設定メニューで【スマートデバイスと接続】を選び、接続待機状態にしてください。 スマートデバイスのWi-Fi機能をOFFにしてからONにし直してみてください。	90

地図・地名情報データ使用許諾契約書

COOLPIX AW120 (以下「本製品」という) に搭載されている地図データ及び地名情報データ(以下「本データ」という)は、次の条件で、ご使用頂けます。

データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定

株式会社ニコン (以下「ニコン」という) 又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項

お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。

- (1) サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用する。
- (2) インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
- (3) 測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末 (PDA) が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- (4) 本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。
- (5) 本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。
- (6) 法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
- (7) 本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
- (8) その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告

時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権

本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責

ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他

本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとし、本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

Government End Users.

If the Data supplied by HERE is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:

Notice of Use

Contractor (Manufacturer/ Supplier) Name: HERE
Contractor (Manufacturer/Supplier) Address:
425 West Randolph Street, Chicago, Illinois 60606

This Data is a commercial item as defined in FAR 2.101 and is
subject to the End-User Terms under which this Data was
provided.

©2013 HERE - All rights reserved.

If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify HERE prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●地図・地名情報データについて



本サービスは株式会社ゼンリンの地図データおよびPOI（位置情報）を使用しています。“ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

© 2013 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用した。

（承認番号 平23情使、第192－B38号）

標高データ

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。

（承認番号 平24情使、第322号）

●日本以外の地図・地名情報データについて



Maps for Life

© 1987-2013 HERE

All rights reserved.

Austria	© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Croatia Cyprus Estonia Latvia Lithuania Moldova Poland Slovenia Ukraine	© EuroGeographics
France	source: © IGN 2009 – BD TOPO ®
Germany	“Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen”

Great Britain	Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010 Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010
Greece	Copyright Geomatics Ltd.
Hungary	Copyright © 2003; Top-Map Ltd.
Italy	La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway	Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Portugal	Source: IgeoE – Portugal
Spain	Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden	Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland	Topografische Grundlage: ©Bundesamt für Landestopographie
United Kingdom	Contains public sector information licensed under the Open Government Licence v1.0 (see for the license http://www.nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/) Adapted from data from the office for National Statistics licensed under the Open Government Licence v.1.0
Canada	This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.
Mexico	Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.)
United States	© United States Postal Service® 2013. Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®. The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4.
Australia	Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psm.com.au). Product incorporates data which is © 2013 Telstra Corporation Limited, Intelomatics Australia Pty Ltd and HERE International LLC.

Nepal	Copyright © Survey Department, Government of Nepal.
Sri Lanka	This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka © 2009 Survey Department of Sri Lanka The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka
Israel	© Survey of Israel data source
Jordan	"© Royal Jordanian Geographic Centre" .
Mozambique	Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2013 by Cenacarta
Nicaragua	The Pacific Ocean and Caribbean Sea maritime borders have not been entirely defined. Northern land border defined by the natural course of the Coco River (also known as Segovia River or Wangki River) corresponds to the source of information available at the moment of its representation.
Réunion	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Ecuador	INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011
Guadeloupe	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Guatemala	Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN N° 186-2011
French Guiana	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Martinique	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX AW120

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1605万画素
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ	光学5倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-21.5 mm (35mm判換算24-120 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/2.8-4.9
レンズ構成	10群12枚 (EDレンズ2枚)
電子ズーム倍率	最大4倍 (35mm判換算で約 480 mm相当の撮影画角)
手ブレ補正機能	レンズシフト方式と電子式の併用
ブレ軽減機能	モーション検知 (静止画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~ ∞ (広角側)、約 50 cm ~ ∞ (望遠側)・ マクロモード時は先端レンズ面中央から約 1 cm ~ ∞ (広角側)
AFエリア	顔認識オート、マニュアル (99点)、中央、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
画像モニター	3型有機ELモニター、反射防止コート付き、約 92万ドット 輝度調節機能付き (5段階)
視野率 (撮影時)	上下左右とも約98% (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約100% (対実画面)
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー (約329 MB)、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 音声メモ：WAV 動画：MOV (映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ)

記録画素数 (画像モード)	<ul style="list-style-type: none"> • 16M (高画質) [4608 × 3456★] • 16M [4608 × 3456] • 8M [3264 × 2448] • 4M [2272 × 1704] • 2M [1600 × 1200] • VGA [640 × 480] • 16 : 9 12M [4608 × 2592] • 1 : 1 [3456 × 3456]
ISO感度 (標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 125 ~ 1600 • ISO 3200、6400 (オート撮影モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光 (電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • 1/1500 ~ 1秒 • 1/4000 (高速連写時の最高速) • 4秒 (シーンモードの [打ち上げ花火])
絞り	電磁駆動による絞り開口 (-1 AV) およびNDフィルター (-2 AV) 選択方式
制御段数	3 (f/2.8、f/4.1、f/8.2 [広角側])
セルフタイマー	約 10秒、約 2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約 0.5~5.2 m (広角側) 約 0.5~4.5 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB相当
通信プロトコル	MTP、PTP
HDMI出力	オート、480p、720p、1080iから選択可能
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> • Micro-USB 端子 • HDMI マイクロ端子 (Type D) (HDMI 出力)

Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル) ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格)
伝送方式	IEEE 802.11b : DBPSK、DQPSK、CCK IEEE 802.11g : OFDM IEEE 802.11n : OFDM
通信距離	約 30 m
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11チャンネル)
データ転送速度 (実測値)	IEEE 802.11b : 5 Mbps IEEE 802.11g : 17 Mbps IEEE 802.11n : 17 Mbps
セキュリティ	OPEN/WPA2
アクセス方式	CSMA/CA
電子コンパス	16方位 (3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、自動偏角補正付き、自動オフセット調整機能付き)
位置情報機能	<ul style="list-style-type: none"> • GPS: 受信周波数: 1575.42 MHz、測地系: WGS 84 • GLONASS: 受信周波数: 1598.0625 MHz ~ 1605.3750 MHz、測地系: WGS 84
気圧計	動作範囲: 約500~1100 hPa
高度計	動作範囲: 約-300~+4500 m (-984~+14760 ft)
水深計	動作範囲: 約0~20 m (0~65 ft)
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12 (リチウムイオン充電電池: 付属) × 1個 ACアダプター EH-62F (別売)
充電時間	約 2時間20分 (本体充電ACアダプター EH-71P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命 ^{※1}	
静止画撮影時	約 350コマ (EN-EL12使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	約 約1時間15分 (1080/30p、EN-EL12使用時) 約 約1時間20分 (1080/25p、EN-EL12使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 110.1×66.0×25.8 mm (突起部除く)
質量	約 213 g (電池、SDメモリーカード含む)

動作環境	
使用温度	-10℃～+40℃（陸上） 0℃～40℃（水中）
使用湿度	85%以下（結露しないこと）
防水性能	JIS/IEC保護等級 8（IPX8）相当（当社試験条件による）水深18 m（59 ft）、60分までの撮影が可能
防じん性能	JIS/IEC保護等級 6（IP6X）相当（当社試験条件による）
耐衝撃性能	MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件（※3）をクリアー

- ・仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電電池使用時のものです。
- ※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※3 高さ202 cmから厚さ5 cmの合板に落下させます（落下衝撃部分の塗装剥離、変形など外観変化、防水性能は不問とします）。すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 32×43.8×7.9 mm
質量	約 22.5 g

本体充電ACアダプター EH-71P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	10.5～15.5 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 48 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の的外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリー カード	SDHCメモリー カード※ ²	SDXCメモリー カード※ ³
SanDisk	2 GB※ ¹	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	-	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※ ¹	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB
Lexar	-	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。



AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS X、ならびにiFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

索引

マーク・英数

オート撮影モード	24、45
シーンモード	35
スペシャルエフェクトモード	42
ベストフェイスモード	44
らくらくオート撮影モード	33
再生モード	30
お気に入り再生モード	5
オート分類再生モード	9
撮影日一覧モード	10
セットアップメニュー	76、 62
T 望遠ズーム	27
W 広角ズーム	27
Q 拡大表示	65
サムネイル表示	66
ヘルプ	35
アクションボタン	2、4
再生ボタン	30
(撮影モード) ボタン	2、24
地図ボタン	82
(動画撮影) ボタン	69
MENU メニューボタン	6、55、67、73、76、87
削除ボタン	31、75、 51
フラッシュモード	48
セルフタイマー	50
マクロモード	51
露出補正	52
1 コマ表示	65
AC アダプター	92、 101
AF エリア	28
AF エリア選択	56、73、 38、 58
AF 表示	9
AF 補助光	76、 69
AF モード	56、73、 41、 59

A-GPS ファイル	87、 79
BSS	38、 34
DPOF プリント	27
DSCN	99
D-ライティング	67、 15
Eye-Fi 送信機能	77、 77
FSCN	99
HDMI	74
HDMI 機器制御	74
HDMI ケーブル	93、 21
HDR	38
HS 動画	73、 55、 56
HS 動画で記録開始	73、 56、 58
ISO 感度設定	56、 37
Nikon Transfer 2	95
PictBridge	93、 22
POI 設定	80、88、 82
RSCN	99
SD カード	16
SD カードスロット	16
SD カードの初期化	17、77、 73
SSCN	99
TV 出力設定	77、 74
USB ケーブル	92、95、 23
USB 出力端子	92、95、 23
ViewNX 2	94
Wi-Fi 設定	89、 92
.JPG	99
.MOV	99
.WAV	99
ア	
赤目軽減自動発光	49
赤目補正	67、 16
アクション画像送り	76、 71
アクション操作	4
アクション操作の感度	76、 71
アクション地図操作	76、 72

アクションボタン	2、4
圧縮率	88、89
位置情報設定	87、89
打ち上げ花火	35、38
衛星による日時合わせ	
.....	88、89
笑顔自動シャッター	57、89
オート撮影モード	45
オートパワーオフ	
.....	23、77、89
オートフォーカス	
.....	56、73、89、90
オート分類再生モード	89
オープニング画面	76、89
お気に入り解除	68、89
お気に入り再生モード	89
お気に入り登録	68、89
お気に入りフォルダー	89
音声メモ	67、89
音量	74、89

カ

カードの初期化	17、77、89
顔認識オート	
.....	62、73、89、90
顔認識撮影	62
拡大表示	65
拡張子	89
風切り音低減	73、89
画像回転	67、89
画像コピー	67、89
画像サイズ	56、89
画像モード	56、89
画面の明るさ	76、89
カレンダー表示	66
かんたんパノラマ	
.....	35、39、89
かんたんパノラマ再生	39、89
簡単レタッチ	67、89
感度制限オート	89
気圧表示	86
逆光	35、38
強制発光	49
距離計算	87、89

距離単位	87、89
記録可能コマ数	22、89
記録可能時間	69、70
クイックエフェクト	
.....	30、46、56、89、90
クローズアップ	35、37
クロスプロセス	42
言語 / Language	77、89
広角ズーム	27
光学ズーム	27
高速連写	89
硬調モノクローム	42
高度 / 水深設定	88、89
高度計	86
高度表示	86
高度ログ	88
極彩色	42

サ

再生	30、65、74、89
再生メニュー	67、89
再生モード	30
先取り撮影	89、90
削除	31、75、89、90
撮影	24、26、28
撮影後の画像表示	76、89
撮影日一覧モード	89
撮影メニュー	56、89
撮影モード	24
サマータイム	19、20、89
サムネイル表示	66
三脚ネジ穴	89
シーンモード	35、36
識別子	89
時差	89
自動発光	49
絞り値	29
シャッター音	89
シャッタースピード	29
シャッターボタン	28
充電器	15、89
充電ランプ	15
常時 AF	73、89、90
情報合成画像	67、89

初期化.....	17、77、	73	電池残量表示.....	22	
シングル AF.....	73、	41、	59	電池ロックレバー.....	12
ズーム.....	27		トイカメラ風 1	42	
ズームレバー.....	27		トイカメラ風 2	42	
水深計.....	86		動画再生.....	74	
水深表示.....	86		動画撮影.....	69	
水深ログ.....	88		動画照明.....	73、	60
水中	35、41		動画設定.....	73、	54
スペシャルエフェクトモード.....	42		動画手ブレ補正.....	73、	60
スポーツ	35、36		動画編集.....	75、	28
スモールピクチャー.....	67、	19	動画メニュー.....	73、	54
スライドショー.....	67、	48	トリミング.....		20
スローシンクロ.....	49		トワイライト	35	
スローモーション撮影.....	73、	55、			

静止画手ブレ補正.....	76、	68
接写.....	51	
設定音.....		70
設定クリア.....	77、	78
セットアップメニュー.....	76、	62
セルフタイマー.....	50	
セルフタイマーランプ.....	50	
セレクトカラー	42	
操作音.....	76、	70
ソフト SO.....	42	

タ

ターゲット追尾.....		39、	40
ターゲットファインド AF.....	56、61、	39	
タイムゾーン.....	20、	63	
ダイレクトプリント.....	93、	22	
単写.....	56、	34	
地域と日時.....	18、76、	63	
地図表示.....	82		
デート写し込み.....	20、76、	67	
テレビ.....	93、	21	
電源.....	22		
電源スイッチ / 電源ランプ.....	22		
電子コンパス設定.....	88、	89	
電子ズーム.....	27、76、	70	
電池.....	12、14、20		
電池 / SD カードカバー.....	12、16		

ナ

内蔵メモリー.....	17、22	
内蔵メモリーの初期化.....	77、	73
内蔵メモリー表示.....	9、11	
夏時間.....	19、20、	63
日時の設定.....	18、76、	63
ノスタルジックセピア SE.....	42	

ハ

バージョン情報.....	77、	78	
パーティー	35、36		
ハイキー	42		
パソコン.....	93、95		
パソコン接続充電.....	77、	75	
発光禁止.....	49		
バッテリーチャージャー.....	15、	101	
半押し.....	29		
ビーチ	35		
日付の写し込み.....	20、	67	
日付の表示順.....	19、	63	
日付のプリント.....	20、	46、	67
美肌.....	57、63、	42	
ピント.....	28、56、73、	38、	58
ファイル名.....		99	
風景	35		
フォーカスロック撮影.....	64		

フォーマット	77、
フラッシュ	48
フラッシュモード	48、49
フラッシュランプ	48
プリセットマニュアル	33
プリンター	93、22
プリント	
.....	67、93、24、26、45
プリント指定	67、45
フレームレート設定	73、61
プロテクト設定	67、49
ベストショットセクター	
.....	38、34
ベストフェイスメニュー	
.....	55、42
ベストフェイスモード	44
別売アクセサリ	101
ペット	35、40
ペット自動シャッター	40
ヘルプ	35
ポートレート	35
望遠ズーム	27
ポップ POP	42
ホワイトバランス	56、32
本体充電 AC アダプター	14

マ

マクロモード	51
マルチセクター	6、30
マルチ連写	35
ミュージアム	35、38
無線 LAN	89、77
メイクアップ効果	67、17
目つぶり軽減	57、44
目つぶり検出設定	77、76
メモリー残量	22
メモリーの初期化	77、73
モーション検知	76、69
モニター	8、7
モニター設定	76、65
モニター表示設定	76、65
モノクロコピー	35、38

ヤ

夜景	35、37
夜景ポートレート	35、36
夕焼け	35
雪	35
用紙設定	25、26

ラ

陸上専用ストラップ	3
料理	35、37
連写	56、34
連写グループ表示方法	
.....	68、11、53
連写の代表画像選択	
.....	68、11、53
レンズ	7、26
ローキー	42
ログ取得	88、83
ログデータ表示	88、86
露出補正	52

ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ニコンサロンを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

 ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)
0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル)
0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

名古屋サービスセンター

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビル6階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

(各サービスセンター共通)

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)

 (ナビダイヤル)
0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577(ニコンカスタマーサポートセンター)におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでの相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼されるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**